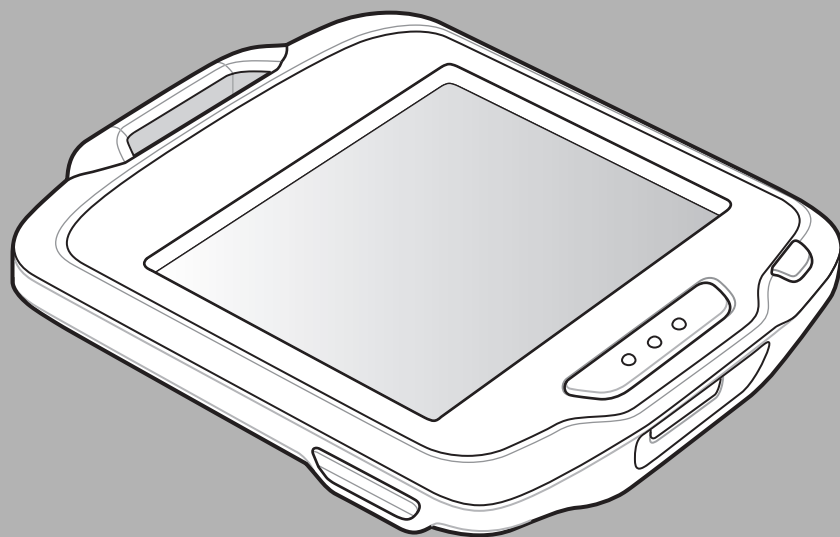


SB1

スマート バッジ ユーザー ガイド



SB1 スマート バッジ ユーザー ガイド

72E-164711-03JA

改訂版 A

2019 年 5 月

Zebra の書面による許可なしに、本書の内容をいかなる形式でも、または電氣的あるいは機械的な手段により、複製または使用することを禁じます。これには、コピー、記録、または情報の保存および検索システムなど電子的または機械的な手段が含まれます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアは、厳密に「現状のまま」提供されます。ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスに基づいてユーザーに提供されます。本契約 (ライセンス プログラム) に基づいて提供される各ソフトウェアおよびファームウェアに対して、ユーザーに移譲不可で非排他的なライセンスを付与します。下記の場合を除き、事前に書面による Zebra の同意がなければ、ユーザーがライセンスを譲渡、サブライセンス、または移譲することはできません。著作権法で認められる場合を除き、ライセンス プログラムの一部または全体をコピーする権限はありません。ユーザーは、ライセンス プログラムを何らかの形式で、またはライセンス プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス プログラムを Zebra の書面による許可なしにネットワークで使用するのを禁じられています。ユーザーは、本契約に基づいて提供されるライセンス プログラムについて、Zebra の著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザーは、提供されるライセンス プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコード、またはリバース エンジニアリングを行わないことに同意します。

Zebra は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加えることができるものとします。

Zebra は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言、または Zebra の知的所有権上のいかなる方法によるかを問わず、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Zebra 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

改訂版履歴

元のマニュアルに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	2012 年 11 月 26 日	初期リリース
-02 改訂版 A	2015 年 5 月 27 日	Zebra への商標変更
-03 改訂版 A	2019 年 5 月 17 日	認可されたクレンザー有効成分を更新します。

目次

改訂版履歴	iii
このガイドについて	
はじめに.....	ix
マニュアル セット	ix
構成.....	ix
ソフトウェア バージョン.....	x
章の説明.....	x
表記規則.....	x
関連文書およびソフトウェア	xi
サービスに関する情報	xi
第 1 章: ご使用の前に	
はじめに	1-1
SB1 の開梱	1-1
機能	1-2
SB1 の充電	1-3
SB1 のリセット	1-5
SB1 の電源オフ	1-5
第 2 章: 動作	
SB1 の装着	2-1
ストラップ	2-1
ホルスタ	2-2
アームバンド	2-3
データ入力	2-3
ヘッドセットの使用	2-4
スピーカ アダプタの使用法	2-6
ホーム画面	2-7
通知	2-8
SB1 のロック	2-9
ユーザー プロファイルの設定	2-9

名前および肩書きの入力	2-10
ログアウト	2-11
デバイスの切り替え	2-11
アプリケーション	2-11
設定	2-12
音量の調節	2-14
PTT Express 設定	2-14
その他の設定	2-14
スクリーン調整	2-14
ビーブ音の設定	2-14
ソフトウェア バージョン	2-15
詳細設定	2-15
PTT Express 音声クライアント	2-16
PTT 音声インジケータ	2-16
PTT Express 音声クライアントの構成	2-17
音声クライアントによる通信の有効化	2-17
グループの選択	2-18
PTT Express 音声クライアントによる通信の無効化	2-18
PTT 通信	2-19
グループ ブロードキャスト (1 人から多数)	2-19
グループ ブロードキャストへの応答	2-19
プライベート応答 (1 人から 1 人)	2-19

第 3 章: データ収集

はじめに	3-1
スキャン操作に関する考慮事項	3-1
バーコードの読み取り	3-2

第 4 章: アクセサリ

はじめに	4-1
シングル スロット充電クレードル	4-2
10 スロット充電専用クレードル	4-4
ヘッドセット アダプタ	4-6
スピーカ アダプタ	4-8
ホルスタ	4-9
アームバンド	4-11
ストラップ	4-13

第 5 章: メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに	5-1
SB1 のメンテナンス	5-1
バッテリーの安全に関するガイドライン	5-2
クリーニング	5-2
使用可能な洗剤の活性成分	5-3
有害成分	5-3
洗浄方法	5-3
洗浄の際の注意事項	5-3
必要な材料	5-3

SB1 のクリーニング	5-4
筐体	5-4
ディスプレイ	5-4
リーダー スキャナ ウィンドウ	5-4
端子	5-4
クレードルのコネクタのクリーニング	5-4
クリーニングの頻度	5-5
トラブルシューティング	5-6
SB1	5-6
シングル スロット充電クレードル	5-7
10 スロット充電専用クレードル	5-8
ヘッドセット アダプタ	5-8
スピーカ アダプタ	5-8

付録 A: サンプル アプリケーション

Demo-MVM	A-1
価格チェック シナリオ	A-2
積載シナリオ	A-3
トラックからの荷下ろしシナリオ	A-4
カートの収集シナリオ	A-5
販売デモのリセット	A-6
販売デモの終了	A-6
Demo-Scan	A-7
FTP クライアント	A-9
必須	A-10
設定	A-10
アプリケーションの終了	A-10

付録 B: 仕様

SB1 の技術仕様	B-1
-----------------	-----

用語集

索引

このガイドについて

はじめに

このガイドでは、SB1 スマート バッジとアクセサリの使用方法について説明します。

✓ 注 このガイドで示しているスクリーンとウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際のスクリーンと異なることがあります。

マニュアル セット

SB1 のマニュアル セットは、ユーザーの個々のニーズに応じて、次のガイドに分かれています。

- **SB1** 規制ガイド - 規制および安全性に関する情報がすべて記載されています。
- **SB1** ユーザー ガイド - SB1 の使用方法について説明しています。
- **SB1** インテグレータ ガイド - SB1 とアクセサリの設定および構成方法について説明しています。
- **SB1** プログラマ ガイド - Rho-Elements ベースのアプリケーションを開発するための情報が記載されています。



構成

このガイドは、以下の構成を対象としています。

構成	無線通信	ディスプレイ	メモリ	データ収集
SB1	WLAN: 802.11 b/g/n	E Ink® タッチ スクリーン	128MB RAM/ 128MB フラッシュ	バーコード リーダー

ソフトウェア バージョン

このガイドでは、さまざまなソフトウェア構成について取り上げ、ソフトウェアのバージョンについて言及しています。ソフトウェア バージョンを確認するには、次の手順に従います。

1. ホーム ボタンを押します。
2.  をタッチします。【設定】画面が表示されます。
3.  をタッチします。【その他の設定】画面が表示されます。
4. 【ソフトウェア バージョン】にタッチします。【ソフトウェア バージョン】画面に、オペレーティング システム (OS)、RhoElements、アプリケーション フォルダ、および SB1 シェルのバージョン番号が表示されます。

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- [第 1 章「ご使用の前に」](#) - SB1 の物理特性、SB1 の充電方法、および SB1 を初めて起動する方法について説明します。
- [第 2 章「動作」](#) - SB1 と SB1 シェルの基本的な使用方法について説明します。
- [第 3 章「データ収集」](#) - SB1 でバーコード リーダーを使用してデータを収集する手順について説明します。
- [第 4 章「アクセサリ」](#) - SB1 で使用可能なアクセサリ、および SB1 でのアクセサリの使用方法について説明します。
- [第 5 章「メンテナンスとトラブルシューティング」](#) - SB1 のお手入れ方法と保管方法、および SB1 の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。
- [付録 A「サンプル アプリケーション」](#) - SB1 にインストールされているデフォルト サンプル アプリケーションの情報を示します。
- [付録 B「仕様」](#) - SB1 の技術仕様一覧表です。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- "SB1" という用語は、Zebra SB1 スマート バッジを意味します。
- 鍵かっこ「」は、次の項目の強調に使用します。
 - 本書および関連文書の章およびセクション
- 角括弧 [] は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - スクリーン上のアイコン

- 太字は、次の項目の強調に使用します。
 - キーパッド上のキー名
 - 画面上のボタン名
- 中黒 (・) 形式の箇条書きは、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要はあるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要のある手順 (順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

関連文書およびソフトウェア

SB1 に関するより詳しい情報については、次の資料を参照してください。

- **SB1** 規制ガイド (p/n 72-162415-xx)
- **SB1** インテグレータ ガイド (p/n 72E-164712-xx)
- **SB1** プログラマ ガイド (p/n 72E-170991-xx)

本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、<http://www.zebra.com/support> から入手可能です。

サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合は、地域担当の Zebra Global Customer Support (Zebra グローバル カスタマ サポート) にお問い合わせください。お問い合わせ先は、<http://www.zebra.com/support> に記載されています。

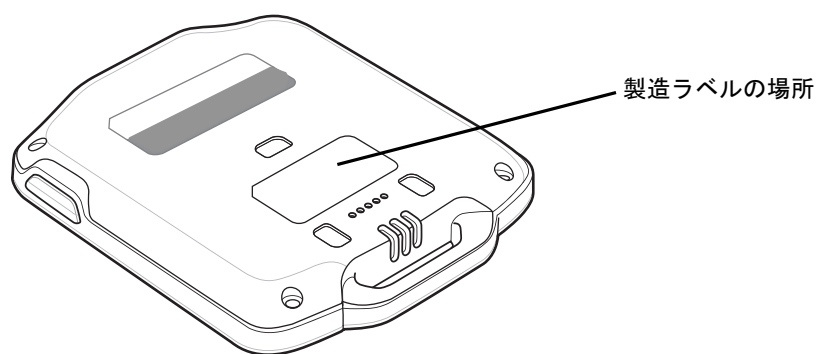
Zebra Global Customer Support (Zebra グローバル カスタマ サポート) へのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- ユニットのシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号 (SB1 については、**1-x ページの「ソフトウェア バージョン」**を参照)

Zebra では、サポート契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。

Zebra Global Customer Support (Zebra グローバル カスタマ サポート) が問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。Zebra は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切に移動すると、保証が無効になる場合があります。

ご使用の製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。



第 1 章 ご使用の前に

はじめに

SB1 は、企業がすべての小売関係者に配布できる、最新カテゴリとなる製品です。本当の意味でスマートなこのバッジは、顧客に最高の快適さを提供するために各関係者が必要としている機能をすべて備え、生産性の維持に必要な常時接続を実現できます。各関係者はバッジを身につけることにより、パーソナライズされたタスク リストにアクセスし、タスクの許可と完了確認を行い、バーコードをスキャンして価格と在庫を確認することができます。また、プッシュトゥーク (PTT) を介して他の関係者 (特に、他の PTT 対応モバイル デバイスを携帯し、店舗内で使用している関係者) と接続することができます。これらの機能により、関係者の能力は強化され、常時接続環境が実現されます。関係者は生産性を最大化するために必要な担当者および情報に常にアクセスすることができ、顧客は来店するたびに、期待を上回るサービスを受けることができます。

この章では、SB1 の物理的な特性と、SB1 の充電方法について説明します。

SB1 の開梱

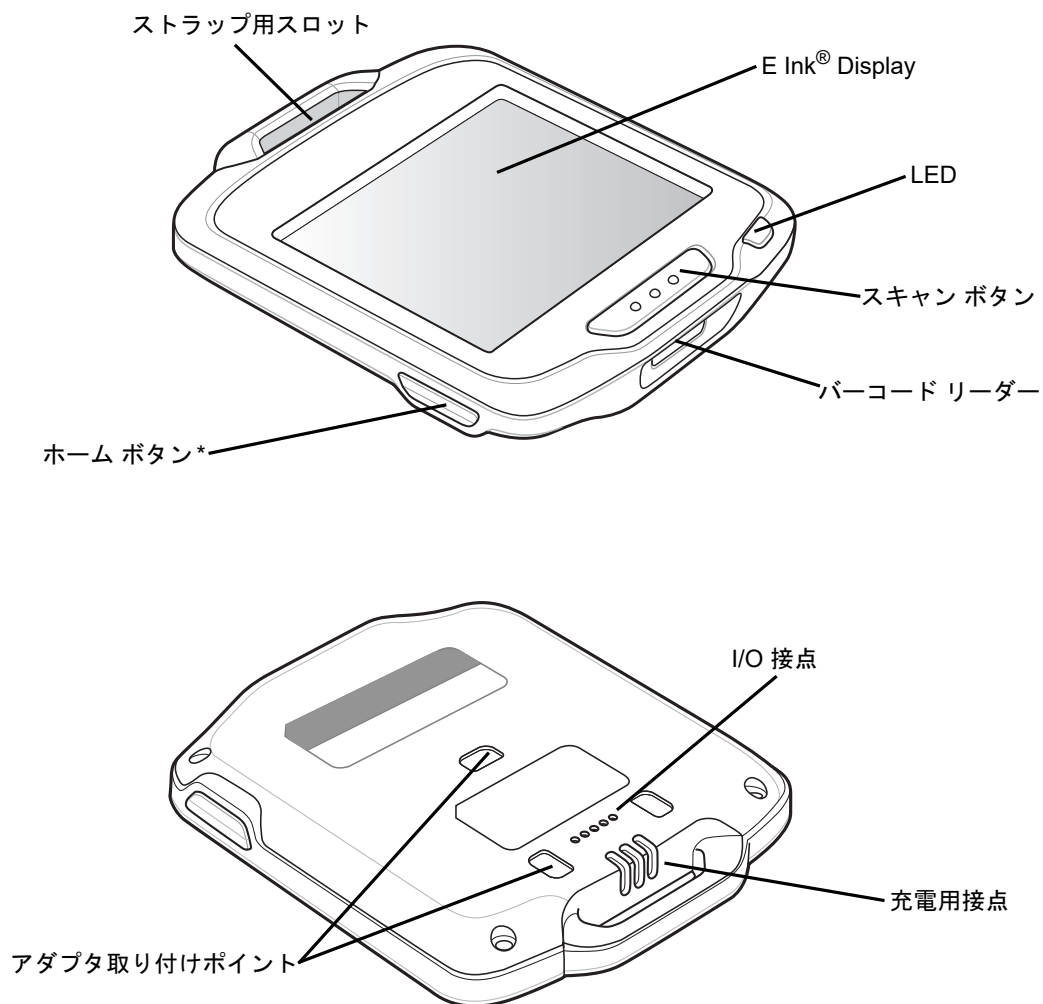
SB1 を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。次のものが含まれていることを確認してください。

- SB1 (シングル ユニットまたはマルチユニット)
- 規制ガイド

破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合は、直ちに Zebra Global Customer Support (Zebra グローバル カスタマ サポート) にお問い合わせください。連絡先については、[xi ページの「サービスに関する情報」](#)を参照してください。

機能

SB1 の機能を 図 1-1 に示します。



* ホーム ボタンをプログラムして、一時停止ボタンの機能を追加できます。『SB1 プログラマ ガイド』を参照してください。

図 1-1 SB1 スマート バッジ

SB1 の充電



注意

5-2 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

SB1 は 0 ~ +35°C (32 ~ 95°F) の周辺温度で充電する必要があります。

SB1 がオフの場合は、規制ラベル情報画面が表示されます。

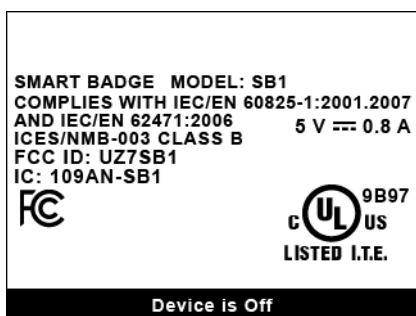


図 1-2 出荷時の画面

SB1 を充電するには、シングル スロット充電クレードルまたは 10 スロット充電専用クレードルを使用します。SB1 を充電するには、スキャン ボタンを上に向けた状態で、SB1 をクレードルのスロットに差し込みます。

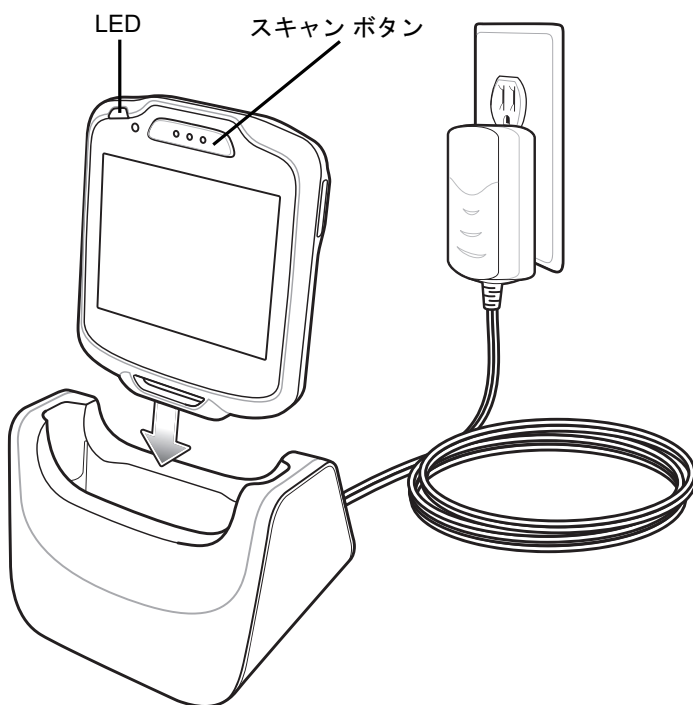


図 1-3 シングル スロット充電クレードル



注

SB1 を 1 晩中持ち出していたため、または長い間保管していたために、バッテリー残量が非常に低下している場合は、SB1 をクレードルに装着して LED が点滅した場合も、すぐに起動しないことがあります。SB1 を充電クレードルに装着すると、通常数分間で起動します。

SB1 が起動すると、ビープ音が鳴り、調整画面が表示されます。

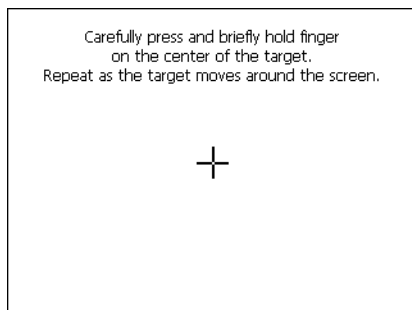


図 1-4 調整画面

完全に充電されるまで、SB1 はクレードルに装着しておいてください。LED が SB1 バッテリーの充電状態を示します。バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。充電の状態の表示については、[1-4 ページの表 1-1](#) を参照してください。LED が緑色に点灯したら、クレードルから SB1 を取り外します。

調整画面のターゲットの中心を指先で軽く押して、少し待ちます。ターゲットが動いてスクリーンの別の位置で止まるたびに、この手順を繰り返します。調整設定の入力が終わったら、スクリーンをタップして、新しい設定を保存します。

表 1-1 LED インジケータ

LED	意味
消灯	SB1 がクレードルに正しく装着されていません。 クレードルに電源が供給されていません。 SB1 が正常に機能していません。
黄色でゆっくり点滅	SB1 は充電中です。
緑色の点灯	充電完了。
黄色で速く点滅	充電エラーです。

SB1 の使用中にバッテリー残量が既定のレベル以下に低下すると、SB1 はシャットダウンし、バッテリー放電画面が表示されます。



図 1-5 バッテリー放電画面

バッテリー放電画面が表示されたら、SB1 バッテリー充電クレードルに装着して再充電します。ディスプレイに、バッテリー充電中であることを示すバッテリー充電画面が表示されます。

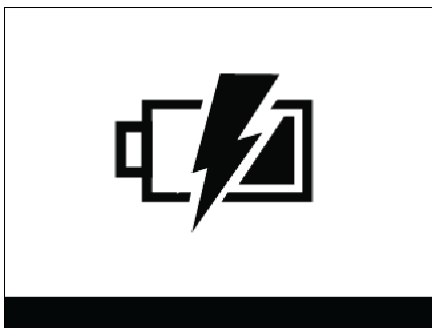





図 1-6 バッテリー充電画面

SB1 のリセット

SB1 が入力に応答しなくなった場合は、リセットしてください。リセットすると、実行中のアプリケーションがすべて停止し、保存されていないデータはすべて失われます。ホーム ボタンとスキャン ボタンを同時に、5 秒間押し続けます。SB1 のビープ音が鳴ったあとに両方のボタンを離すと、SB1 がリセットされます。

SB1 の電源オフ

長い間使用しない場合は、SB1 の電源をオフにします。

1. ホーム ボタンを押します。
2.  をタッチします。【設定】画面が表示されます。
3.  をタッチします。【その他の設定】画面が表示されます。
4. 【詳細設定】をタッチします。
5. 必要に応じて、管理者 PIN を入力し、 をタッチします。【詳細設定】画面が表示されます。
6. 【デバイスの電源オフ】をタッチします。
7. 【OK】をタッチします。SB1 がシャットダウンし、規制に関する情報画面が表示されます。

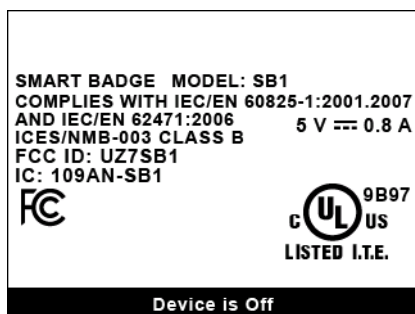


図 1-7 規制に関する情報画面

SB1 の電源を再びオンにする場合は、SB1 をクレードルに装着します。

第2章 動作

この章では、SB1 の基本的な使用方法について説明します。

SB1 の装着

SB1 は首に吊り下げたストラップ、腰に取り付けたホルスタ、またはアームバンドに装着できます。

ストラップ

ストラップを使用すると、SB1 の取り扱いが簡単になります。使用していない SB1 は従業員バッジとして使用できます。



図 2-1 ストラップに取り付けられた **SB1**

SB1 をストラップに取り付けると、取り外しや交換が簡単になります。加速度計によりデバイスの向きに応じてスクリーンがすぐに 180 度回転するため、お客様やユーザーはスクリーンを見やすくなります。

ストラップの長さは調整可能なため、ユーザーは使いやすい高さに SB1 を吊り下げることができます。[4-13 ページの「ストラップ」](#)を参照してください。

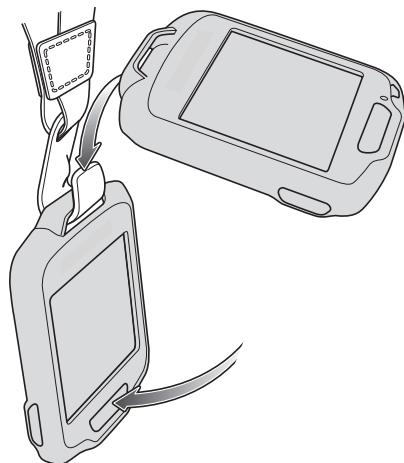


図 2-2 ストラップへの SB1 の取り付け

ホルスタ

- ✓ 注 ホルスタのストラップは、緩みを防ぐためのものです。ホルスタから SB1 が抜けて、床に落ちないようにしてください。SB1 が損傷することがあります。

ベルトまたはウエストバンドにホルスタを留め、付属のストラップで SB1 を固定します。セットアップ手順については、[4-9 ページの「ホルスタ」](#)を参照してください。

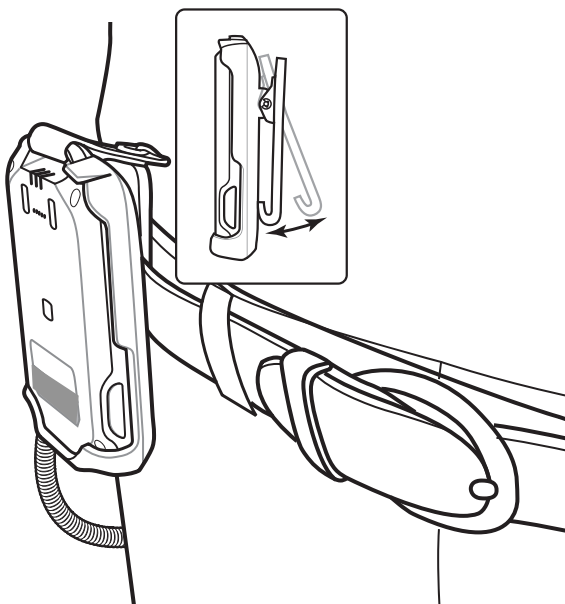


図 2-3 ベルトに装着したホルスタ

アームバンド

腕または二の腕にアームバンドを取り付けて、そこにホルスタを取り付けます。セットアップ手順については、[4-11 ページの「アームバンド」](#)を参照してください。

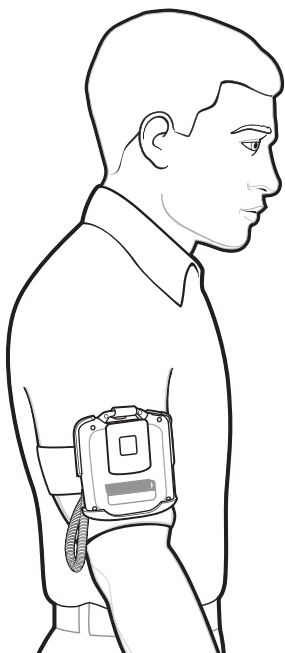


図 2-4 アームバンド

データ入力

✓ 注 スクリーンに触れる場合は、必ず指を使用してください。指以外のものを使用すると、保証が無効になることがあります。

オブジェクトの選択、テキストの入力、通知の承認は、指先で行います。SB1 のディスプレイ上でペンまたは他のものを使用しないでください。SB1 は指で容易に操作できるように設計されています。

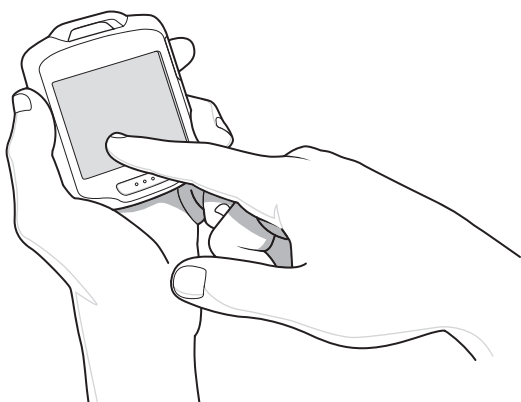


図 2-5 スクリーンでのデータの入力

ヘッドセットの使用

プッシュトゥートーク (PTT) 通信を行う方法の 1 つは、ヘッドセットを使用することです。Zebra では、イヤホンヘッドセットとスピーカヘッドセットの 2 種類のヘッドセットアクセサリを用意しています。ヘッドセットを使用する場合は、ヘッドセットアダプタが必要です。ストラップ、ホルスタ、またはアームバンドに SB1 を装着している場合は、ヘッドセットアダプタにヘッドセットを接続します。

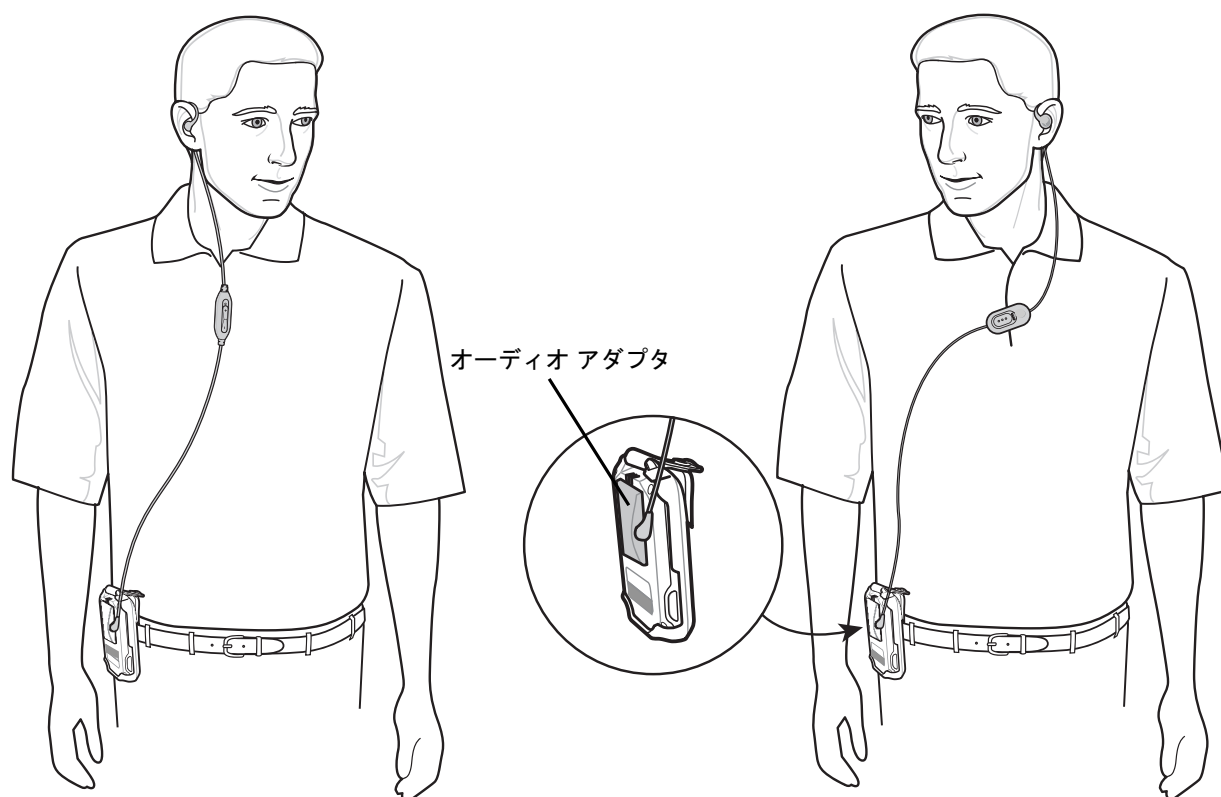


図 2-6 ホルスタに SB1 を装着している場合のヘッドセットの使用法

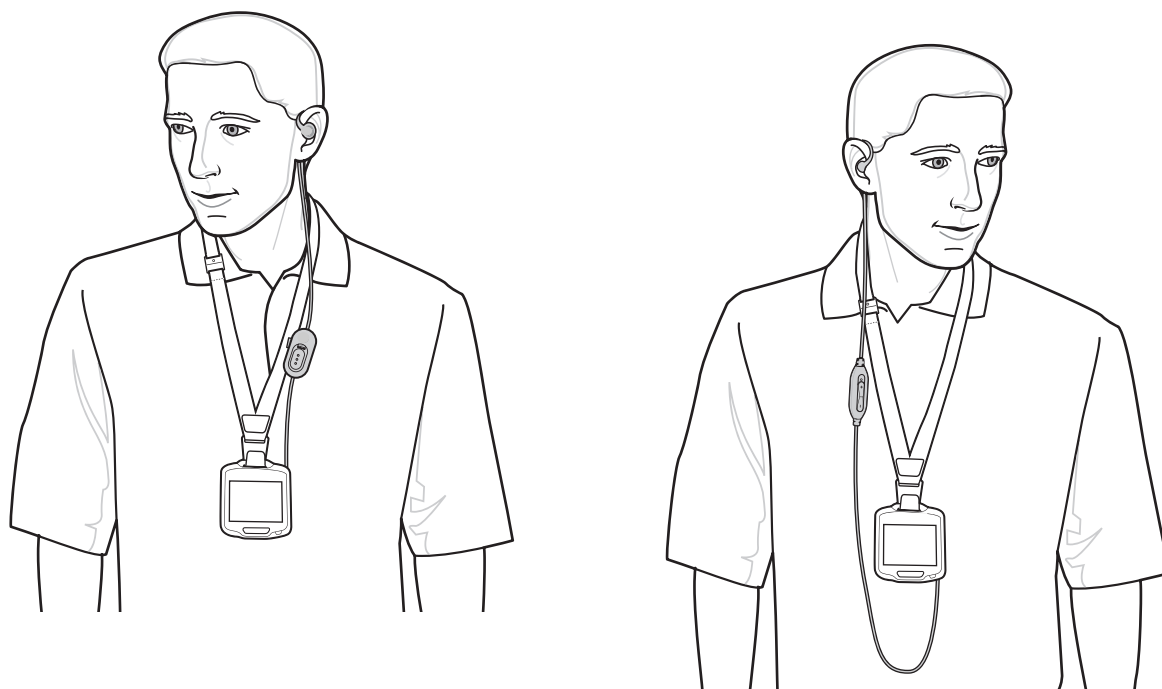


図 2-7 ストラップに SB1 を装着している場合のヘッドセットの使用法

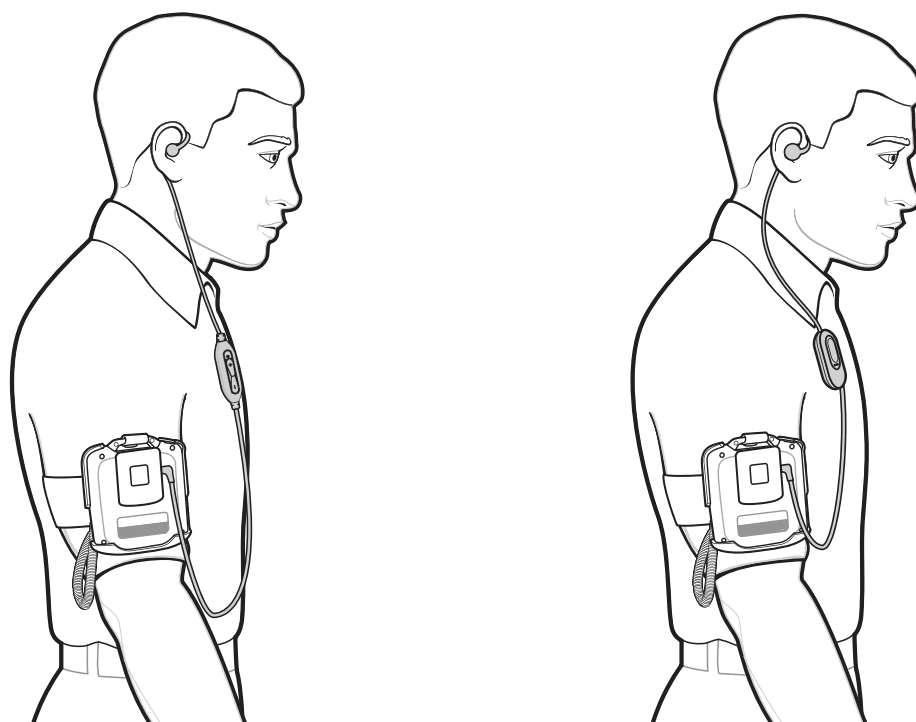


図 2-8 アームバンドに SB1 を装着している場合のヘッドセットの使用法

スピーカ アダプタの使用方法

スピーカ アダプタには PTT 通信機能があります。オーディオを受信すると、スピーカ アダプタから音声がかかります。ユーザーが話すと、SB1 の前面にあるマイクから音声を取り込まれます。

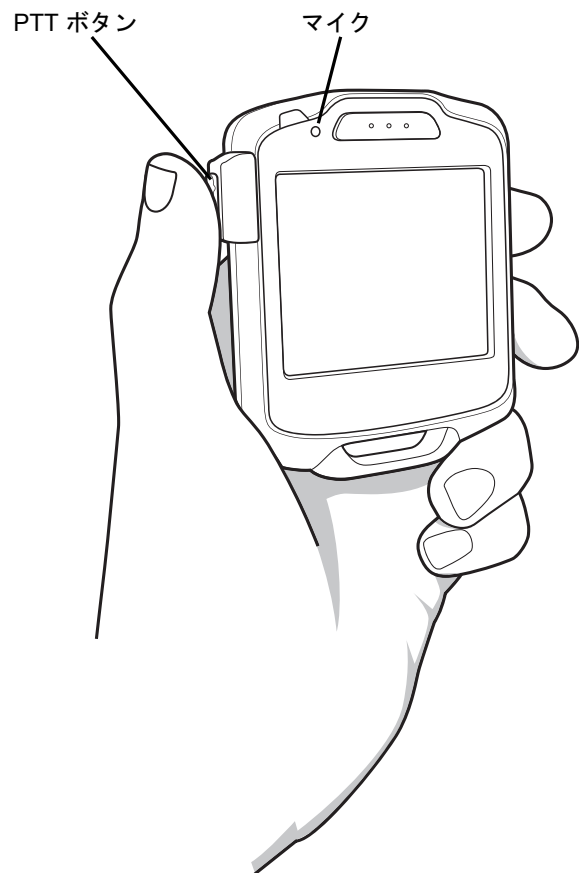


図 2-9 スピーカ アダプタの使用方法

ホーム画面

ホーム画面では、SB1 の構成、アプリケーション、通知、およびユーザー プロファイルの設定を行うことができます。

SB1 の側面にあるホーム ボタンを押して離すと、ホーム画面が表示されます。

- ✓ 注 SB1 がクレードルに装着されている場合は、ユーザーがホームボタンを押しても、ホーム画面は表示されません。

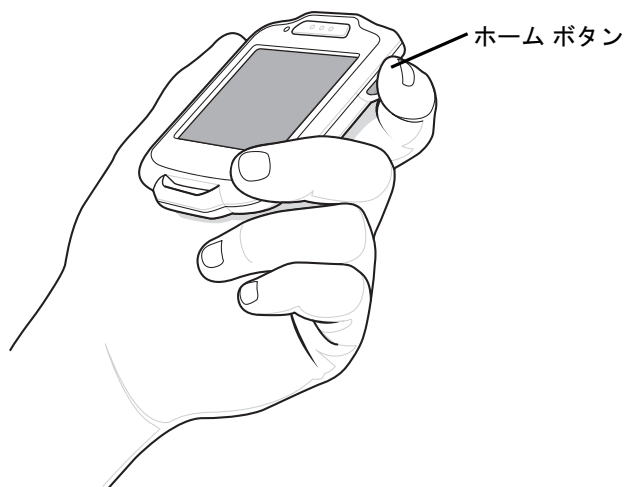


図 2-10 ホームボタンの押下

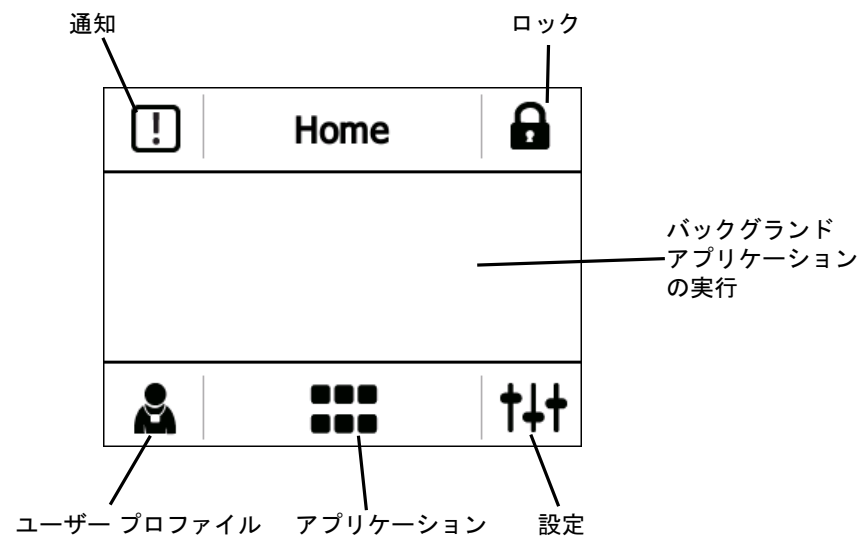







図 2-11 ホーム画面

表 2-1 ホーム画面のアイコン

アイコン	説明
	通知 - タッチすると、[通知] 画面が表示されます。アイコンに星のマークが付いている場合は、新しい通知を表示できます。
	ロック - タッチすると、SB1 は自動的にロックされ、ユーザー画面が表示されます。
	ユーザー プロファイル - タッチすると、ユーザー プロファイルを設定できます。
	アプリケーション - タッチすると、アプリケーション画面が起動します。
	設定 - タッチすると、SB1 設定を構成できます。

通知

SB1 にはシステムやアプリケーションの状態に関する通知が表示されます。通知を受信すると、スクリーンに通知ダイアログ ボックスが表示され、ビープ音が 1 回鳴ります。ユーザーは通知に応じて、通知を処理するか、または破棄することができます。



図 2-12 通知ダイアログ ボックスの例

複数の通知がある場合は、通知ごとにダイアログ ボックスが 1 つずつ表示されます。

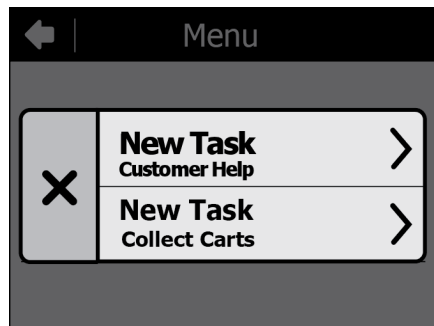



図 2-13 複数通知

いずれかの通知をタッチすると、対応する通知ダイアログ ボックスが表示されます。ダイアログ ボックスが閉じるには、 をタッチします。

ホーム画面には、通信圏外の通知アイコンと、バッテリー残量不足の通知アイコンが表示されています。また、通知が変更されると、ビープ音が1回鳴ります。

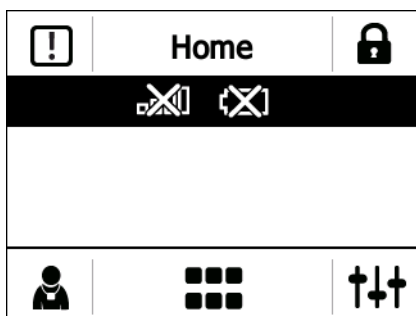


図 2-14 通信圏外通知とバッテリー残量不足通知

SB1のロック

[ロック]アイコンをタッチすると、SB1 がバッジ モードになります。スクリーンには【プロフィール】画面で設定されたユーザー名と肩書きが表示されます。SB1 がストラップから吊り下げられている場合も、バッジモードになります。2-1 ページの図 2-1 を参照してください。

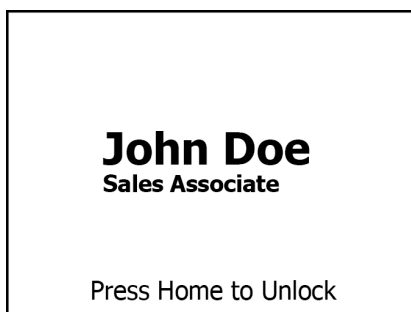


図 2-15 ロック画面

ホーム画面に戻るには、ホーム ボタンを押します。

ユーザー プロファイルの設定

✓ 注 ユーザー設定はすべてのアプリケーションに適用されるわけではありません。システム管理者にご確認ください。

ユーザー名およびユーザーの肩書きの設定、SB1 のサインアウト、デバイスの切り替えを行うには、【プロフィール】画面を使用します。

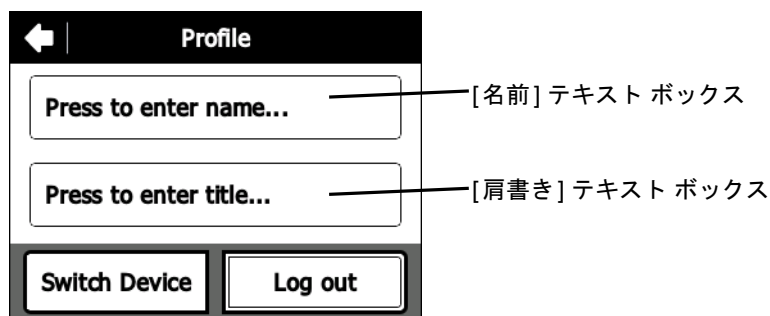


図 2-16 【プロフィール】画面

名前および肩書きの入力

ユーザー名を入力するには、次の手順に従います。

1. 【プロフィール】画面上部のテキスト ボックスをタッチします。【名前の入力】画面が表示されます。

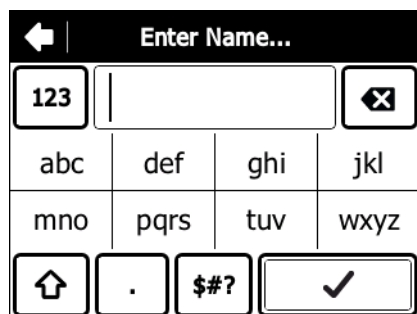







図 2-17 【名前の入力】画面

2. キーパッドのキーを押して、ユーザー名を入力します。
 - 大文字を作成するには、 を使用します。
 - 数値キーパッドを表示するには、 をタッチします。
 - 特殊文字キーパッドを表示するには、 をタッチします。
 - 文字 c を作成するには、abc をすばやく 3 回タッチします。
 - テキスト ボックス内の最後の文字を削除するには、 を使用します。
3.  をタッチして、名前を保存します。

ユーザーの肩書きを入力するには、次の手順に従います。

1. 【プロフィール】画面下部のテキスト ボックスをタッチします。【肩書きの入力】画面が表示されます。

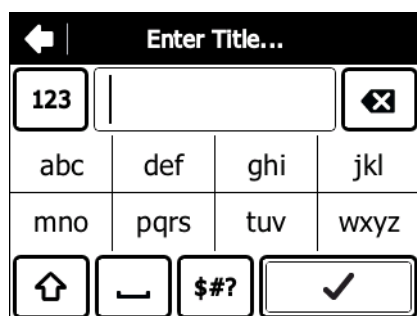


図 2-18 【肩書きの入力】画面

2. キーパッドのキーを押して、ユーザーの肩書きを入力します。
 - 大文字を作成するには、 を使用します。
 - 数値キーパッドを表示するには、 をタッチします。
 - 特殊文字キーパッドを表示するには、 をタッチします。
 - 文字 c を作成するには、**abc** をすばやく 3 回タッチします。
 - テキスト ボックス内の最後の文字を削除するには、 を使用します。
3. をタッチして、肩書きを保存します。

ログアウト

この機能は実装環境によって異なります。

デバイスの切り替え

この機能は実装環境によって異なります。

アプリケーション

SB1 にインストールされたすべてのアプリケーションは、 をタッチして使用することができます。

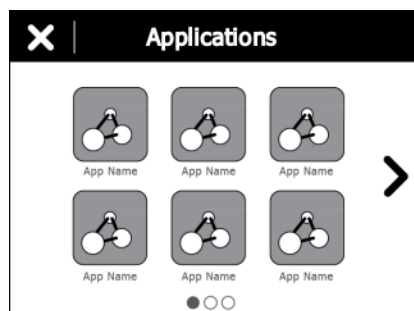


図 2-19 アプリケーション画面の例

- ✓ 注 出荷時の SB1 にインストールされているアプリケーションの数は限られています。構成済みの SB1 には、別のアプリケーションがインストールされている可能性があります。

【アプリケーション】画面には、各アプリケーションのアイコンが表示されます。7 個以上のアプリケーションがインストールされている場合は、矢印をタッチして次のページに移動します。アイコンの下に、有効なアプリケーション ページ数を示すドットが表示されます。

アプリケーションを起動するには、アイコンをタッチします。

実行中のアプリケーションがある場合は、タイトル バーに ✕ が表示されます。【アプリケーション】画面を終了して、直前に実行されていたアプリケーションに戻るには、✕ をタッチします。

実行中のアプリケーションがある場合は、そのアイコンの上部コーナーに ✕ が表示されます。アプリケーションを停止するには、対応するアイコンの ✕ をタッチします。

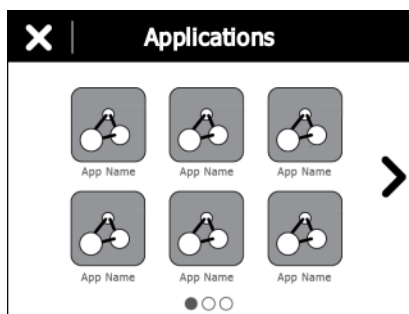


図 2-20 実行中のアプリケーションがある場合の【アプリケーション】画面の例

設定

SB1 の機能を制御するには、【設定】画面を使用します。

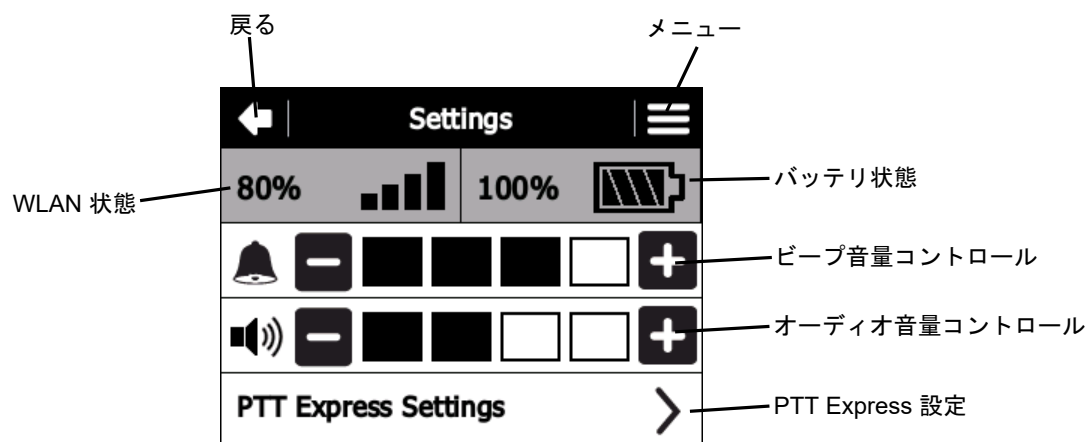


図 2-21 【設定】画面

- **WLAN** の状態 - WLAN 信号の強度が表示されます。2-13 ページの表 2-2 を参照してください。状態を更新するには、このアイコンをタッチします。

- ✓ 注 クレードルから SB1 を取り外して、バッテリー状態が更新されるまで、約 30 秒かかります。

- バッテリー状態 - バッテリーの充電レベルが表示されます。**2-13 ページの表 2-3**を参照してください。状態を更新するには、このアイコンをタッチします。
- ビープ音量コントロール - スピーカの音量を調整する場合に使用します。**2-14 ページの「音量の調節」**を参照してください。
- オーディオ音量コントロール - ヘッドセット アダプタやスピーカ アダプタを通してオーディオ音量を制御する場合に使用します。**2-14 ページの「音量の調節」**を参照してください。ヘッドセットを使用している場合は、ヘッドセットの音量コントロールも使用できます。
- **PTT Express** 設定 - PTT Express にプッシュトゥトーク (PTT) 設定を構成する場合にタッチします。詳細については、**2-16 ページの「PTT Express 音声クライアント」**を参照してください。
- **【その他の設定】メニュー** - 日時の設定、スクリーン調整、プロビジョニング、無線 LAN 構成を行うための追加設定オプションを表示するには、**≡** をタッチします。

表 2-2 WLAN 状態







アイコン	状態	アクション
	最適な信号強度	WLAN ネットワークは使用可能です。
	非常に良好な信号強度	WLAN ネットワークは使用可能です。
	良好な信号強度	WLAN ネットワークは使用可能です。
	弱い信号強度	WLAN ネットワークは使用可能です。パフォーマンスが最適でなくなることがあります。ネットワーク管理者に、信号強度が「弱い」であることを通知してください。
	通信圏外 (未接続)	WLAN ネットワーク接続がありません。SB1 と無線ネットワークとの接続が切断されているか、無線ネットワークの圏外にいる場合は、ビープ音が鳴り、ホーム画面にこのアイコンが表示されます。ネットワーク管理者に連絡してください。SB1 が無線ネットワークの圏内に戻ると、ビープ音が鳴ります。

表 2-3 バッテリー状態

アイコン	説明
	25%
	50%
	75%
	100%

音量の調節

SB1 のビーブ音量とオーディオ音量を調整するには、**+** をタッチして音量を上げるか、**-** をタッチして音量を下げます。ヘッドセットを使用している場合は、ヘッドセットの音量コントロールも使用できます。

PTT Express 設定

PTT Express を有効にしてチャンネルを選択するには、**[PTT Express 設定]** を使用します。PTT Express の使用の詳細については、[2-16 ページの「PTT Express 音声クライアント」](#)を参照してください。

その他の設定

スクリーンの調整、ビーブ音の設定、ソフトウェア バージョンの表示、およびその他の詳細設定を行うには、**[その他の設定]** オプションを使用します

スクリーン調整

スクリーンをタッチしたときに、調整ミスが見つかった場合、ユーザーはスクリーンを再調整することができます。

1. **[設定]** スクリーンで **≡** をタッチします。
2. **[スクリーンの調整]** をタッチします。
3. ターゲットの中心を指先で軽く押して、少し待ちます。ターゲットが動いてスクリーンの別の位置で止まるたびに、この手順を繰り返します。この操作で、新しい調整設定が入力されます。

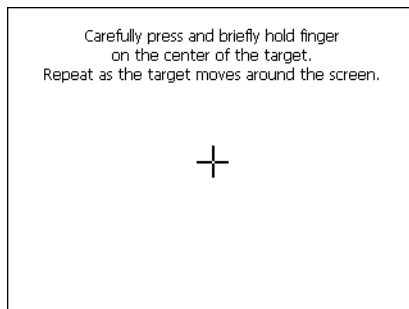


図 2-22 調整画面

4. 新しい調整設定の入力がすべて終わったら、スクリーンをタップして、新しい設定を保存します。

ビーブ音の設定

SB1 のアラートを設定するには、次の手順に従います。ユーザーはオーディオ アラートを生成する通知のタイプを選択できます。

1. **↑↓** をタッチします。**[設定]** 画面が表示されます。
2. **≡** をタッチします。**[詳細設定]** 画面が表示されます。
3. **[ビーブ音設定]** をタッチします。
4. **[システム]**、**[サーバー]**、または**[アプリケーション]** ラジオ ボタンをタッチして、通知発生時のビーブ音を有効または無効にします。
5. **◀** をタッチして、ホーム画面に戻ります。

ソフトウェア バージョン

SB1 にインストールされているさまざまなソフトウェア アプリケーションのバージョンを表示するには、[ソフトウェア バージョン] をタッチします。[ソフトウェア バージョン] 画面に、オペレーティング システム、RhoElements、アプリケーションのフォルダ、および SB1 シェルのバージョン番号が表示されます。

[その他の設定] 画面に戻るには、[戻る] 画面をタッチします。

詳細設定

[詳細設定] には、システム管理者またはシステム インテグレータが構成できるオプションの設定が用意されています。[詳細設定] の詳細については、『SB1 インテグレータ ガイド』を参照してください。

PTT Express 音声クライアント

PTT Express 音声クライアントを使用すると、異なるエンタープライズ デバイス間で PTT 通信機能を有効にすることができます。PTT Express は既存の無線 LAN (Wireless Local Area Network) インフラストラクチャを利用して、シンプルな PTT 通信を行います。音声通信サーバーを用意する必要はありません。

PTT 通信を実行するには、スピーカ アダプタまたはヘッドセット アダプタとヘッドセットが必要です。アダプタのインストール方法については、[第 4 章「アクセサリ」](#)を参照してください。

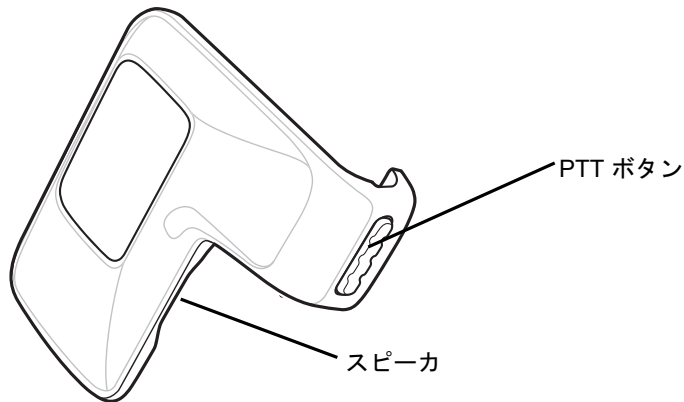


図 2-23 スピーカ アダプタ

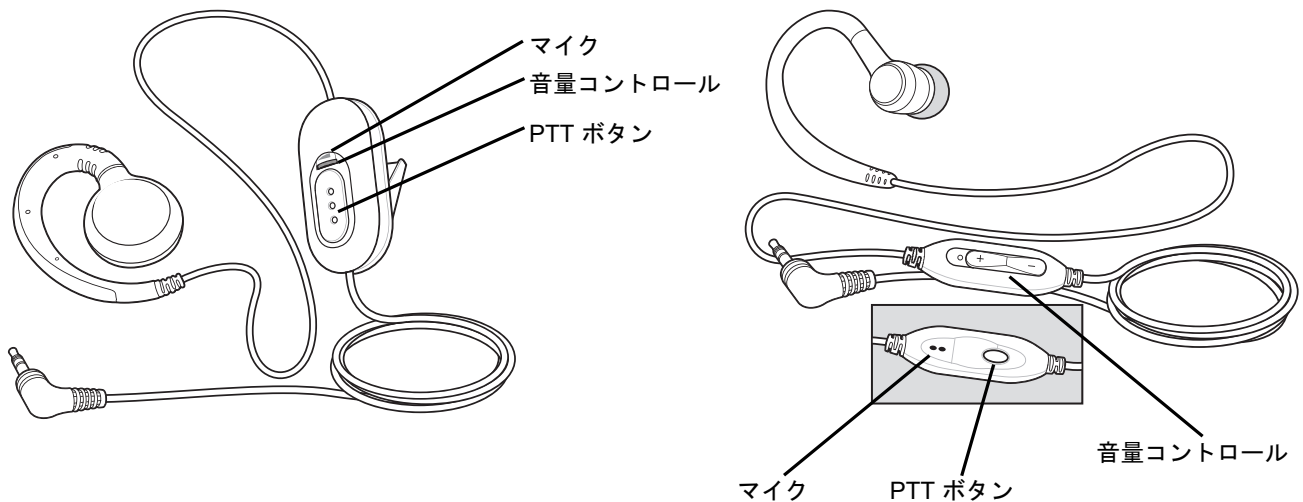


図 2-24 ヘッドセット

PTT 音声インジケータ

音声クライアントを使用している場合は、次のトーンが役立ちます。


- トーク トーン: 高い音 (2 回)。PTT ボタン (放送通話または個別通話) を押した場合に鳴ります。ユーザーは通話を開始するよう求められています。
- アクセス トーン: ビープ音 (1 回)。別のユーザーがブロードキャストを終了したか、またはユーザーに回答した場合に鳴ります。ユーザーはグループ ブロードキャストまたはプライベート応答を開始できます。
- ビジー トーン: 連続トーン。ブロードキャスト (またはプライベート) ボタンを押したときに、同じグループ内の別のユーザーがすでに通信している場合に鳴ります。

- ネットワーク トーン：
 - 徐々に音量が上がるトーン (3 回)。PTT Express が WLAN 接続を確立し、音声通信を行うことができる場合に鳴ります。
 - 徐々に音量が下がるトーン (3 回)。PTT Express の WLAN 接続が切断されていて、音声通信を行うことができない場合に鳴ります。

PTT Express 音声クライアントの構成

音声クライアントによる通信の有効化

PTT 通信を有効にするには、次の手順に従います。

1. ホーム ボタンを押して、ホーム画面を表示します。
2.  をタッチします。【設定】画面が表示されます。
3. **[PTT Express 設定]** をタッチします。**[PTT Express]** 画面が表示されます。

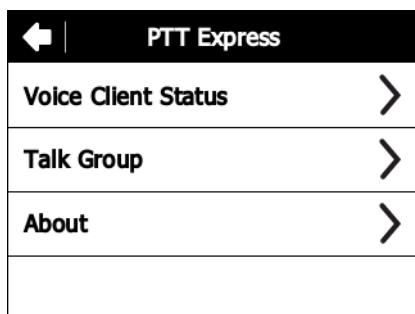


図 2-25 **[PTT Express]** 画面

4. **[音声クライアントの状態]** をタッチします。

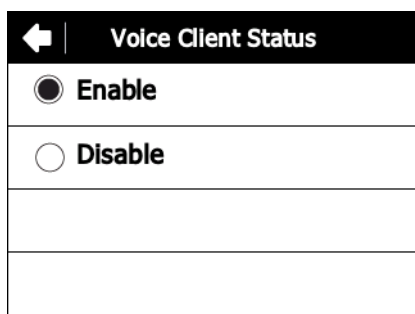



図 2-26 **[音声クライアントの状態]** 画面

5. **[有効化]** をタッチします。
6. **[保存]** をタッチします。
7.  をタッチします。

グループの選択

✓ 注 リセットすると、このグループが **【グループ 1】** に設定されます。

PTT Express ユーザーは、32 のグループの中から 1 つを選択できます。ただし、SB1 で同時に有効にできるグループは 1 つのみです。

1. **↑↓** をタッチします。**【設定】** 画面が表示されます。
2. **【PTT Express 設定】** をタッチします。**【PTT Express】** 画面が表示されます。
3. **【グループ】** をタッチします。**【グループ】** 画面が表示されます。

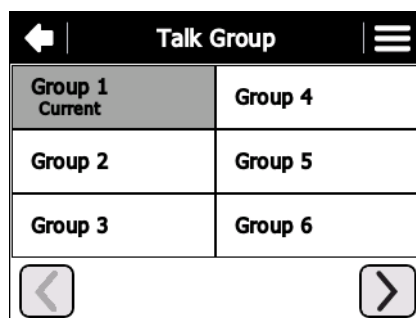


図 2-27 **【グループ】** 画面

4. **【画面】** 番号をタッチします。その他のグループを表示するには、矢印ボタンを使用します。
5. **【保存】** をタッチします。
6. **←** をタッチして、**【PTT Express】** 画面に戻ります。
7. ホーム ボタンを押します。

PTT Express 音声クライアントによる通信の無効化

PTT 通信を無効にするには、次の手順に従います。

1. ホーム画面で、**↑↓** をタッチします。**【設定】** 画面が表示されます。
2. **【PTT Express 設定】** をタッチします。**【PTT Express】** 画面が表示されます。
3. **【音声クライアントの状態】** をタッチします。
4. **【無効化】** をタッチします。
5. **【保存】** をタッチします。
6. **←** をタッチして、**【PTT Express】** 画面に戻ります。
7. ホーム ボタンを押します。

PTT 通信

- ✓ 注 プライベート応答機能はデフォルトで無効になっています。アプリケーションによっては、この機能が有効になる場合があります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

PTT 通信は、グループ ブロードキャストまたはプライベート応答として確立できます。

グループ ブロードキャスト (1 人から多数)

1. スピーカ アダプタまたはヘッドセットの PTT ボタンを押し続けて、トーク トーンを聞きます。
ビジー トーンが聞こえる場合は、PTT ボタンを離し、しばらく待機してからやり直します。PTT Express および WLAN が有効なことを確認します。
2. トーク トーンが聞こえたら、すぐに通話を開始します。

- ✓ 注 ユーザーが PTT ボタンを 60 秒以上押し続けると、通話が切断されて再開されるため、他のユーザーがグループ ブロードキャスト通話を行うことはできません。他のユーザーが通話を開始できるように、通話が終了したら、[グループ ブロードキャスト] ボタンを離す必要があります。

3. 通話が終了したら、PTT ボタンを離します。

グループ ブロードキャストへの応答

グループ ブロードキャストに応答するには、次の手順に従います。

1. アクセス トーンが聞こえるまで待機します。
2. PTT ボタンを押し続けて、トーク トーンを聞きます。
ビジー トーンが聞こえる場合は、PTT ボタンを離し、しばらく待機してからやり直します。PTT Express および WLAN が有効なことを確認します。
3. トーク トーンが聞こえたら、すぐに通話を開始します。
4. 通話が終了したら、PTT ボタンを離します。

プライベート応答 (1 人から 1 人)

- ✓ 注 プライベート応答機能はデフォルトで無効になっています。アプリケーションによっては、この機能が有効になる場合があります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

プライベート応答を開始できるのは、グループ ブロードキャストが確立されている場合のみです。

最初のプライベート応答は、グループ ブロードキャストの最後の通話者との間で行われます。

1. アクセス トーンが聞こえるまで待機します。
2. 10 秒以内に PTT ボタンを 2 回押して、そのまま保持し、トーク トーンを聞きます。
ビジー トーンが聞こえる場合は、PTT ボタンを離し、しばらく待機してからやり直します。PTT Express および WLAN が有効なことを確認します。
3. トーク トーンが聞こえたら、すぐに通話を開始します。
4. 通話が終了したら、PTT ボタンを離します。

第 3 章 データ収集

はじめに

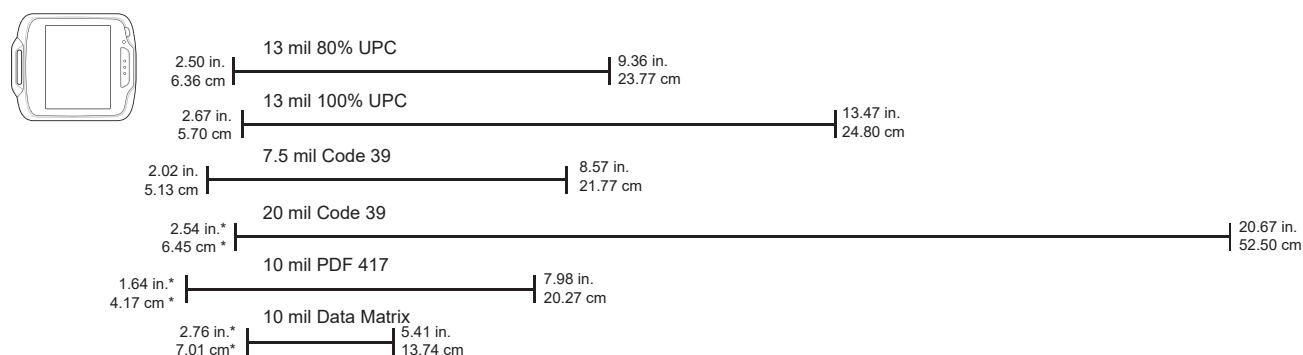
SB1 にはエイマーと照明を組み合わせたバーコードリーダーが組み込まれていて、バーコードデータを読み取ることができます。このバーコードリーダーでは、高度なカメラ技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

スキャン操作に関する考慮事項

スキャン操作は、照準、スキャン、および読み取りで構成されます。範囲を考慮することで、スキャン性能を最適化できます。

スキャン デバイスは、特定の読み取り幅 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲内) にある場合に正しく読み取りを行います。この範囲は、バーコードの密度とスキャン デバイスの光学系によって異なります。

範囲内でスキャンすることで、すばやく連続して読み取ることができます。近すぎたり遠すぎたりすると、正しく読み取ることができません。SB1 を近づけたり遠ざけたりして、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。バーコードの濃度に対して適切な読み取り幅を特定する最良の方法は、「読み取り可能範囲」というグラフを参考にすることです。「読み取り可能範囲」グラフは、バーコードの最小光源幅に応じて読み取り幅を割り出したものです。詳細については、『SB1 インテグレーター ガイド』を参照してください。



* バーコードの幅によって異なる

図 3-1 バーコード リーダーの読み取り可能範囲

- ✓ **注** うまくスキャンできない状態が続く場合は、Zebra Global Customer Support (Zebra グローバル カスタマ サポート) にお問い合わせください。バーコードが適切に印刷されていれば、読み取りは短時間で問題なく実行されます。

バーコードの読み取り

バーコードを読み取るには、次の手順に従います。

1. SB1 にスキャン アプリケーションがロードされていることを確認します。
2. スキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。

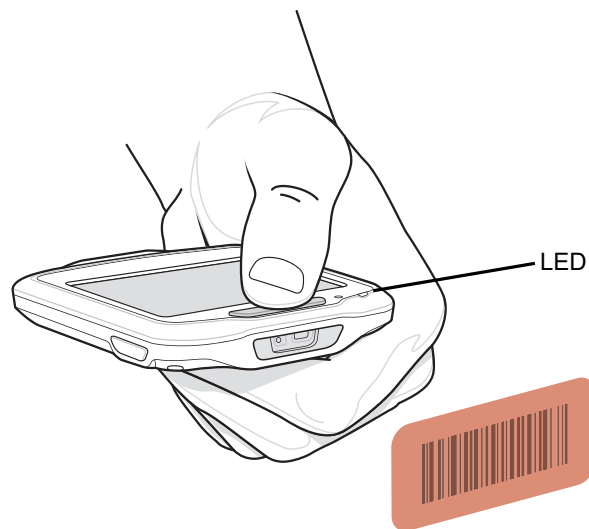


図 3-2 データ収集

3. スキャン ボタンを押します。赤色の照明がバーコード全体をカバーしていることを確認します。照明がオンになっている場合は、LED インジケータが赤色に点灯します。正しく読み取れた場合は、LED インジケータが緑色に点灯してピープ音が鳴ります。

- ✓ **注** スキャン手順は、アプリケーションによって異なります。アプリケーションによっては、スキャン手順が上記とは異なる場合があります。

第 4 章 アクセサリ

はじめに

SB1 のアクセサリは、製品をサポートするさまざまな機能を備えています。表 4-1 に、SB1 のアクセサリ一覧を示します。

表 4-1 SB1 アクセサリ

アクセサリ	説明
クレードル	
シングル スロット 充電 クレードル	SB1 内のバッテリーを充電します。
10 スロット 充電 専用 クレードル	10 台の SB1 を充電します。
充電器	
電源 (12VDC、4.16A)	10 スロット 充電 専用 クレードルに電力を供給します。
電源 (5VDC、850mA)	シングル スロット 充電 クレードルに電力を供給します。
その他	
ホルスタ	SB1 用のクリップオン ホルダ。
アームバンド	SB1 用ホルスタを腕に取り付けることができます。
ストラップ	SB1 を首に吊り下げる場合に使用します。
ヘッドセット アダプタ	コードで接続されたヘッドセットにオーディオを送ります。
スピーカ アダプタ	スピーカでプッシュトゥーク機能を使用できるようにします。
イヤホン ヘッドセット	ハンズフリーの PTT 通話を行えるようオーディオを再生します。耳に密着するスピーカ、PTT ボタン、および音量コントロールが装備されています。

シングル スロット 充電 クレードル



注意 5-2 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

SB1 バッテリーに充電するには、シングル スロット 充電 クレードルを使用します。SB1 のバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

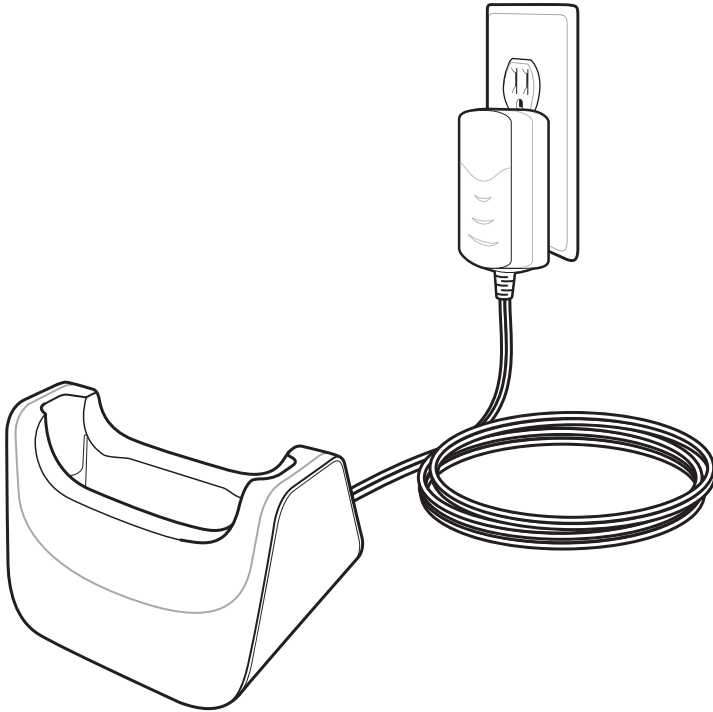


図 4-1 シングル スロット USB クレードル

1. SB1 がストラップまたはホルスタのストラップに取り付けられている場合は、取り外します。
2. スキャン ボタンを上、ディスプレイを外に向けた状態で、SB1 をスロットに差し込みます。



注 ヘッドセット アダプタまたはスピーカ アダプタが接続されている SB1 をクレードルに装着すると、オーディオ機能が無効になっていることを示すビープ音が鳴ります。

オーディオ再生中の SB1 をクレードルに装着すると、オーディオがミュートになります。この SB1 をクレードルから取り外すと、ミュートが解除されます。

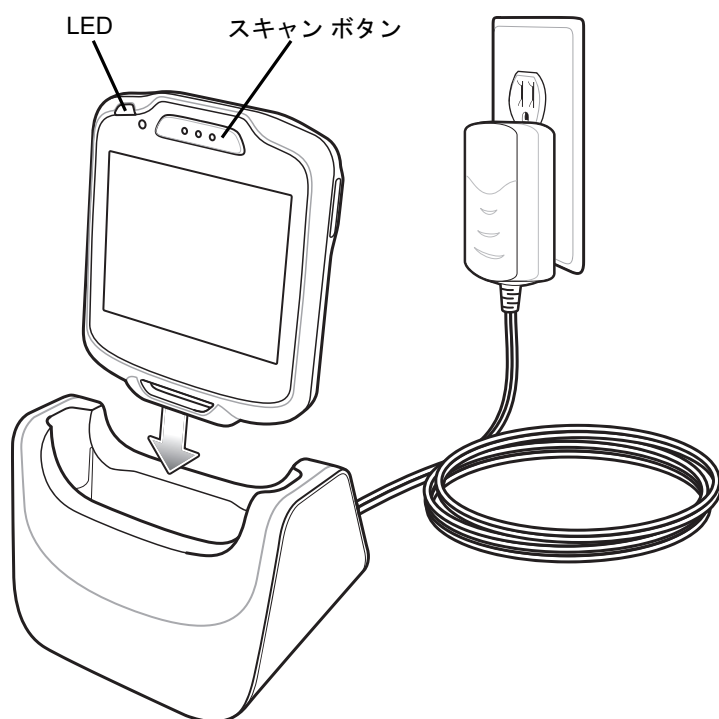


図 4-2 シングル スロット **USB** クレードル

[充電] 画面が表示され、SB1 LED インジケータに SB1 の充電状態が示されます。バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。充電の状態の表示については、[1-4 ページの表 1-1](#)を参照してください。

3. 充電が完了したら、SB1 をクレードルから取り外すことができます。

10 スロット充電専用クレードル



注意 5-2 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

最大 10 台の SB1 を同時に充電するには、10 スロット充電専用クレードルを使用します。SB1 を充電するには、次の手順に従います。

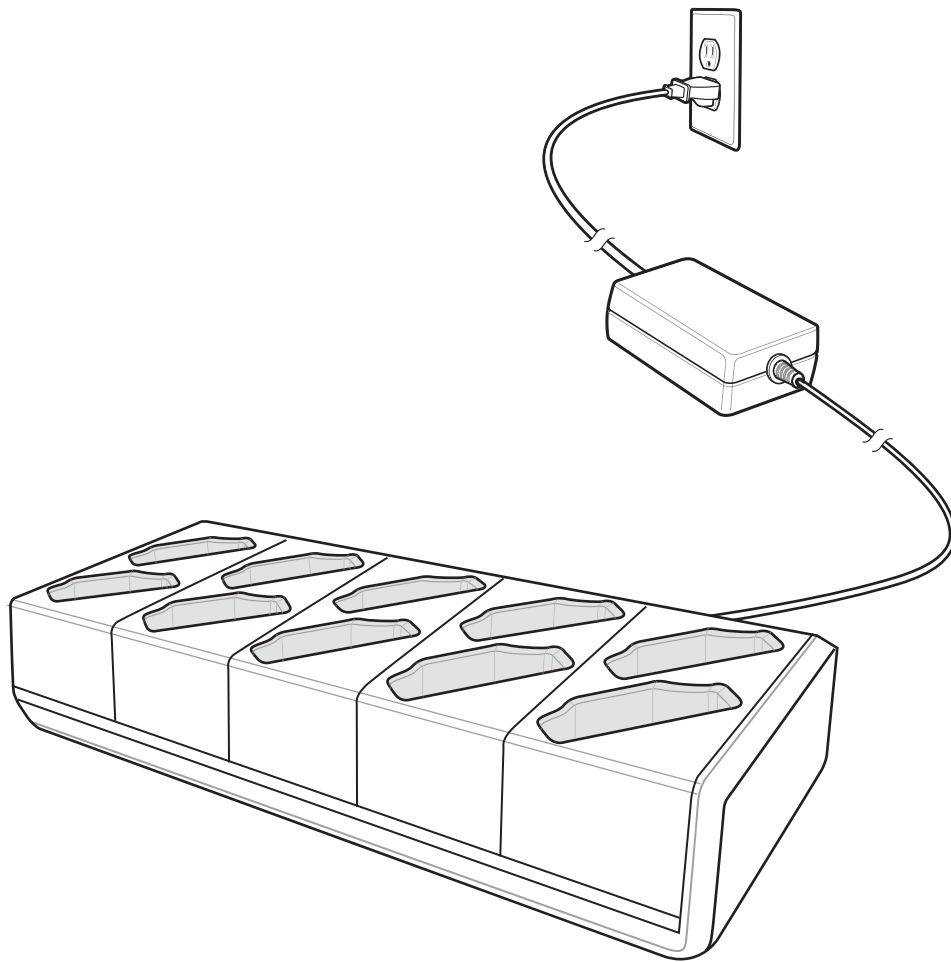


図 4-3 10 スロット充電専用クレードル

1. SB1 がストラップまたはホルスタのストラップに取り付けられている場合は、取り外します。
2. スキャン ボタンを上に向けた状態で、SB1 をスロットに差し込みます。
3. SB1 が所定の位置にカチッとハマるまで押し下げます。SB1 がスロットに固定されていることを確認します。



注 ヘッドセットアダプタまたはスピーカアダプタが接続されている SB1 をクレードルに装着すると、オーディオ機能が無効になっていることを示すピープ音が鳴ります。

オーディオ再生中の SB1 をクレードルに装着すると、オーディオがミュートになります。この SB1 をクレードルから取り外すと、ミュートが解除されます。

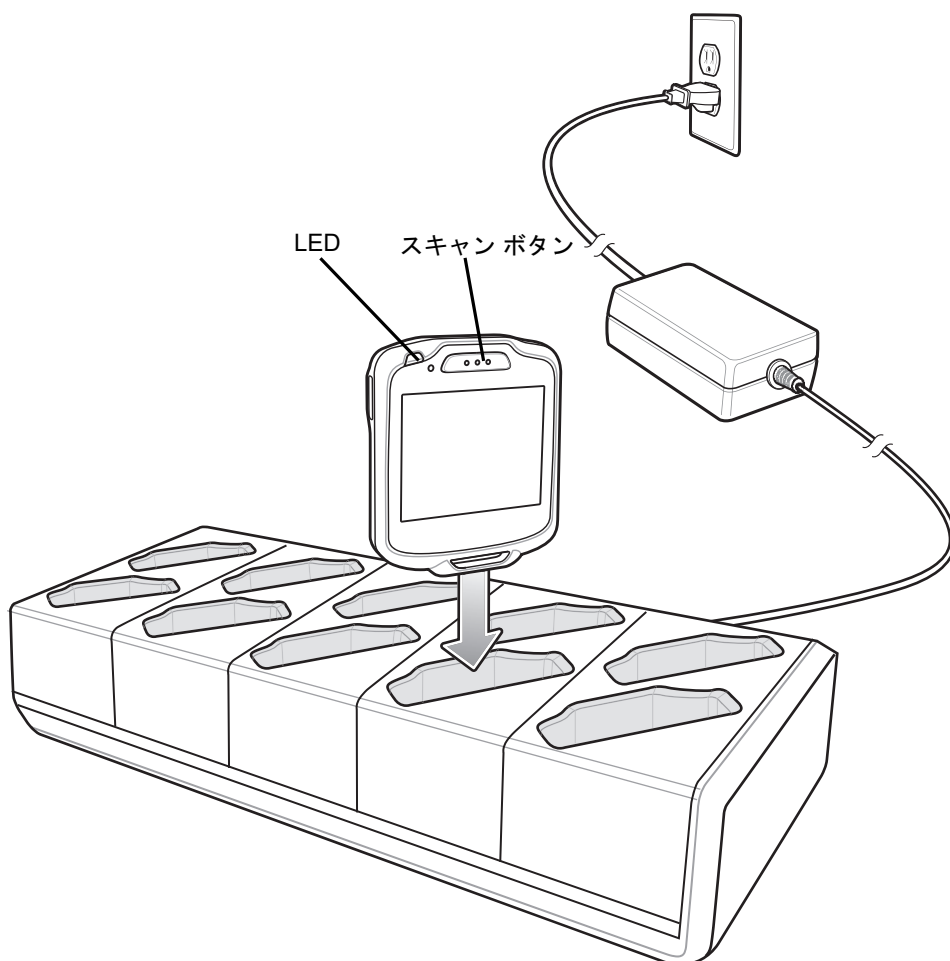


図 4-4 10 スロット充電専用クレードルへの SB1 の装着

[充電] 画面が表示され、SB1 LED インジケータに SB1 の充電状態が示されます。バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。充電の状態の表示については、[1-4 ページの表 1-1](#)を参照してください。

4. 充電が完了したら、SB1 をクレードルから取り外すことができます。

ヘッドセット アダプタ

SB1 にオーディオ機能を追加するには、ヘッドセット アダプタを使用します。SB1 にヘッドセット アダプタを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ヘッドセットのプラグをヘッドセット アダプタのヘッドセット ジャックに差し込みます。

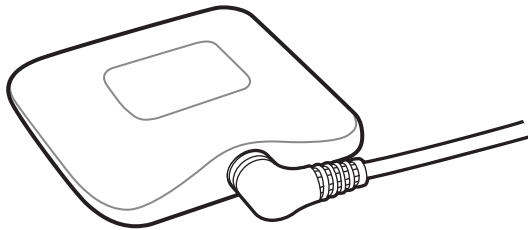


図 4-5 ヘッドセット アダプタへのヘッドセット ジャックの取り付け

2. ヘッドセット アダプタのマグネットを SB1 の背面にあるアダプタ取り付けポイントに合わせます。

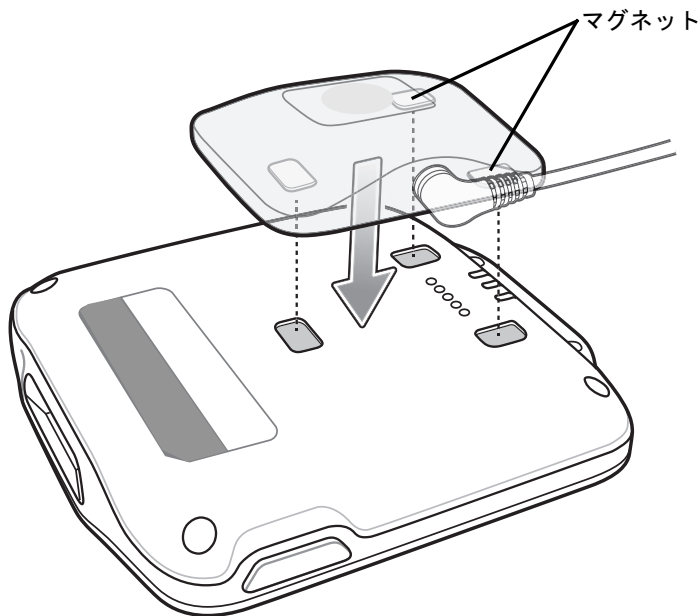


図 4-6 ヘッドセット アダプタと SB1 の位置合わせ

3. ヘッドセット アダプタを SB1 の方向に押し下げます。ヘッドセット アダプタが SB1 に装着されます。アダプタが正しく装着されている場合は、SB1 のビープ音が 2 回鳴ります。
4. アダプタが SB1 に水平に配置されていることを確認します。水平に配置されていない場合は、取り外して、取り付け直してください。

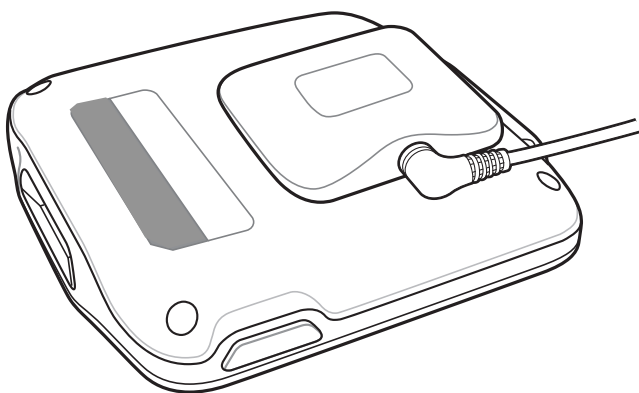


図 4-7 SB1 に装着されたヘッドセット アダプタ

SB1 からヘッドセット アダプタを取り外すには、SB1 の上に装着されたヘッドセット アダプタの端を持って、持ち上げます。

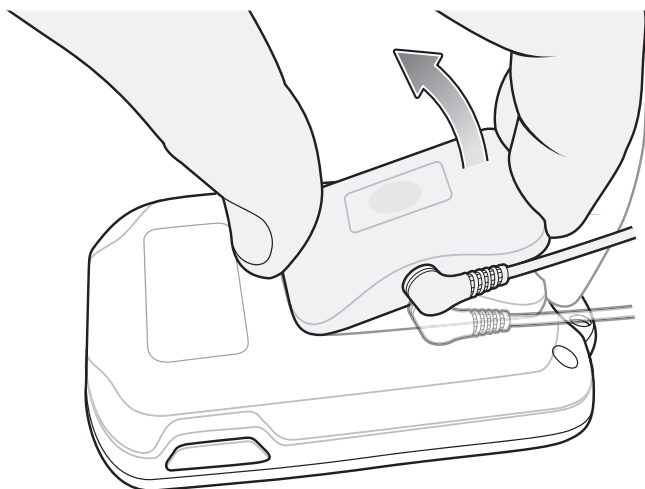


図 4-8 ヘッドセット アダプタの取り外し

スピーカ アダプタ

オーディオおよびプッシュトゥーク (PTT) 機能を追加するには、スピーカ アダプタを使用します。

SB1 にスピーカ アダプタを取り付けるには、次の手順に従います。

1. スピーカ アダプタを側面から SB1 にスライドさせて、SB1 にホーム ボタンがかぶさるようにします。

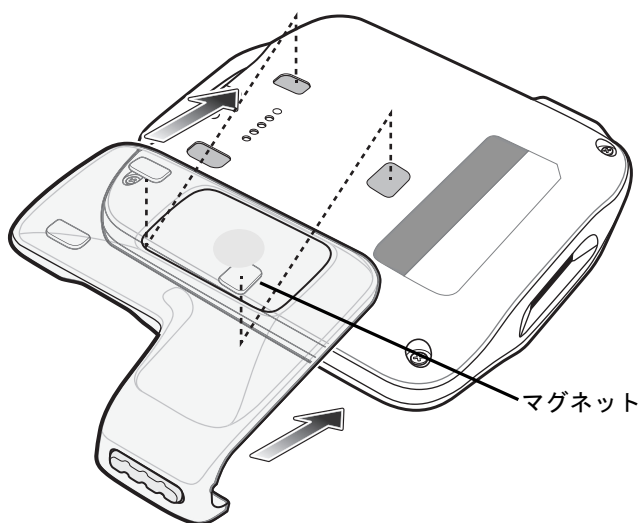


図 4-9 スピーカ アダプタの位置合わせ

2. ヘッドセット アダプタを SB1 の方向に押し下げます。スピーカ アダプタが SB1 に装着されます。アダプタが正しく装着されている場合は、SB1 のビープ音が 3 回鳴ります。
3. アダプタが SB1 に水平に配置されていることを確認します。水平に配置されていない場合は、取り外して、取り付け直してください。

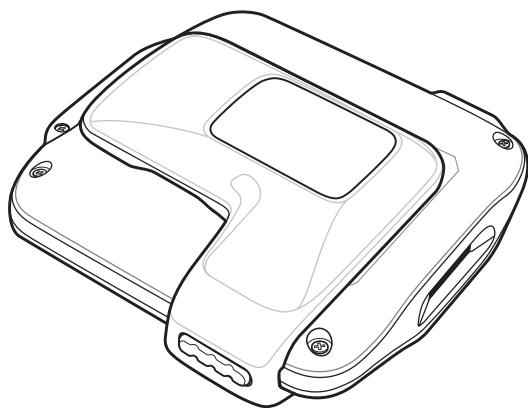


図 4-10 装着されたスピーカ アダプタ

- ✓ 注 SB1 からスピーカ アダプタを取り外すと、スピーカ アダプタが SB1 から取り外されたことを示すビープ音が鳴ります。

ホルスタ

使用していない SB1 を収納するには、ホルスタを使用します。ホルスタは SB1 をベルトまたはリストバンドに固定します。SB1 をホルスタに取り付けるためのストラップが付属しています。

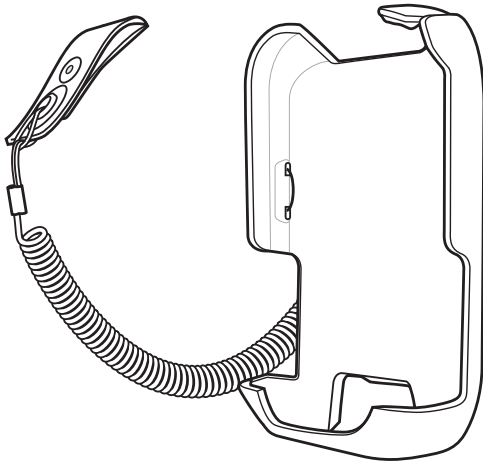


図 4-11 ホルスタ

クリップの先端をストラップ用の溝に差し込んで、かみ合わせます。

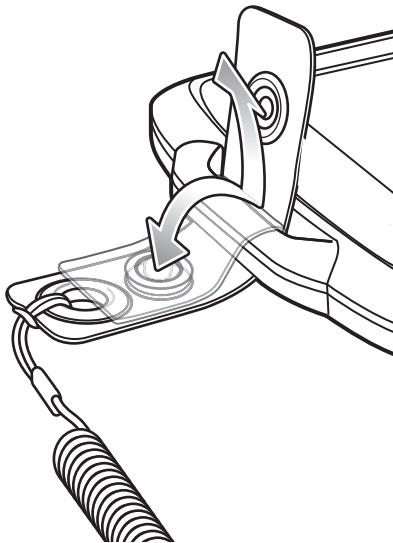


図 4-12 SB1 へのクリップの取り付け

スキャン ボタンを下に、スクリーンをホルスタ側に向けた状態で、SB1 をホルスタに差し込みます。

SB1 をホルスタに押し込んで、装着します。

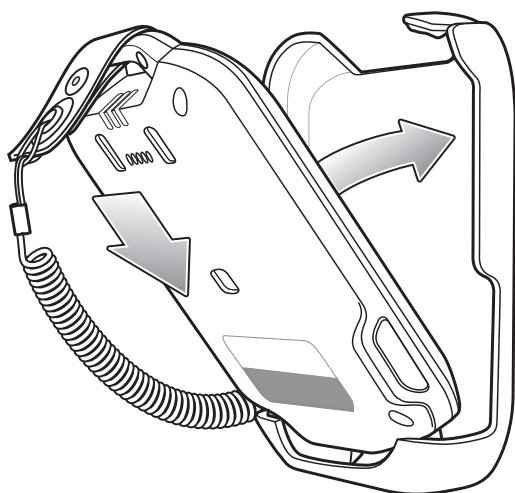


図 4-13 ホルスタへの SB1 の装着

ホルスタから SB1 を取り外すには、SB1 の上部をホルスタ本体から引き離します。

アームバンド

SB1 を腕に装着するには、アームバンドを使用します。

アームバンドを装着するには、次の手順に従います。

グリップのゴム面が内側になるように、アームバンドの先端をバックルに通します。

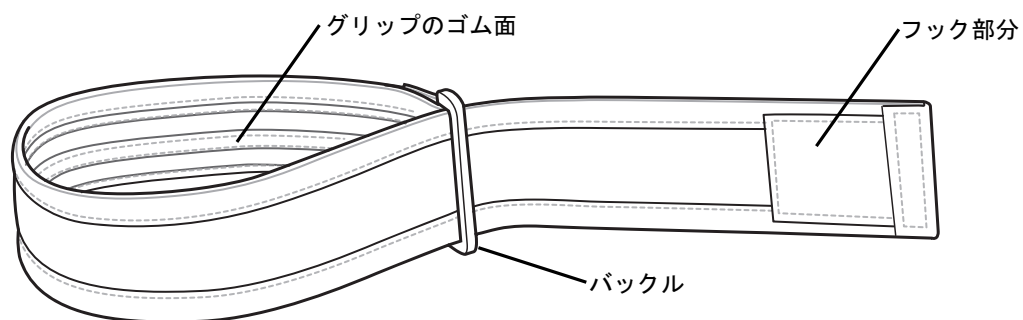


図 4-14 アームバンド

1. アームバンドを腕に通して、使いやすい位置に引き上げます。
2. アームバンドの端を引いて、折り返し、フック部分をループ部分に固定します。

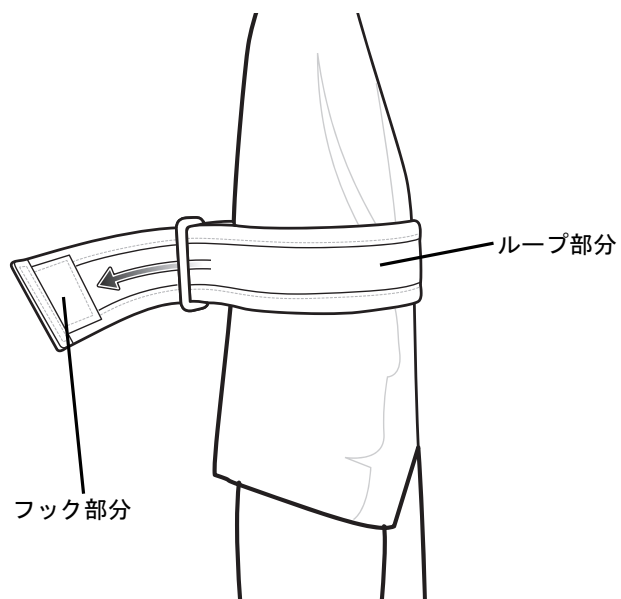


図 4-15 アームバンドの取り付け

3. ホルスタのクリップを、アームバンドのフック部分とループ部分の間に差し込みます。

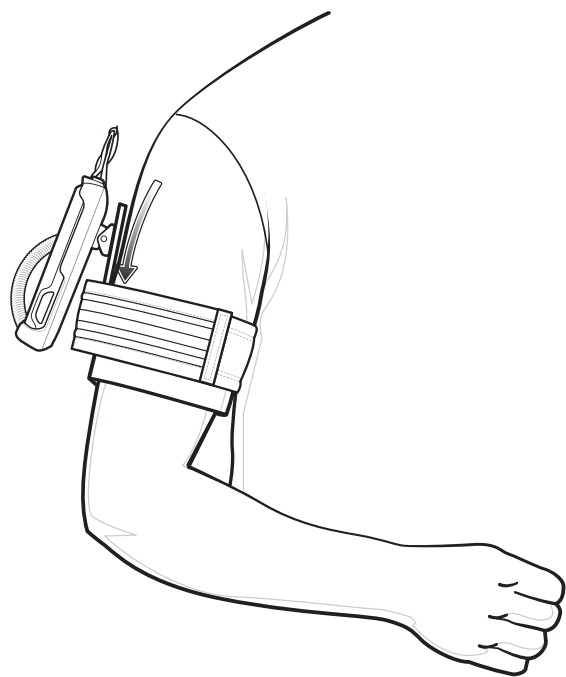


図 4-16 ホルスタの装着

4. アームバンドの端を持ち上げてから引いて、しっかりと締めます。

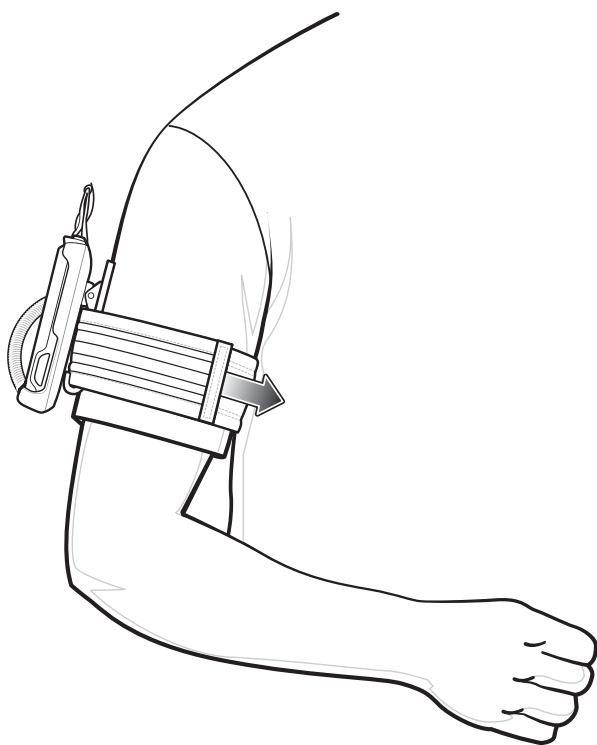


図 4-17 アームバンドの固定

ストラップ

ストラップを使用すると、SB1 を首に吊り下げることができます。

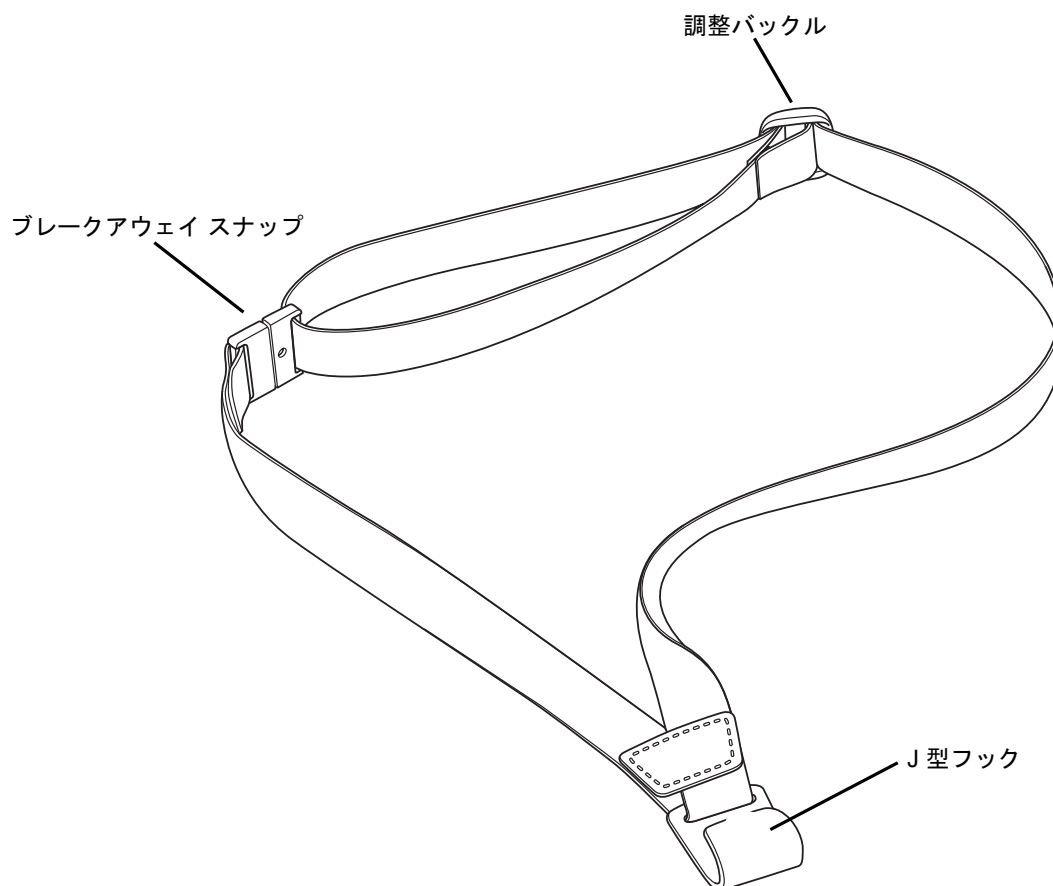


図 4-18 ストラップ

ストラップを調整バックルに通して、ストラップの長さを調整します。バックルをブレークアウェイ スナップに近づけると、ストラップが長くなり、ブレークアウェイ スナップから離すと、ストラップが短くなります。

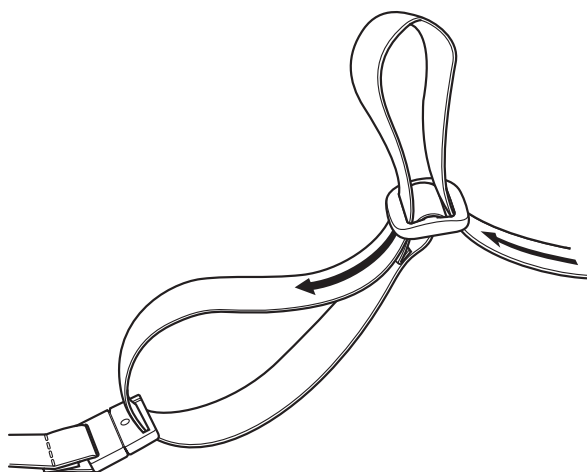


図 4-19 ストラップの調整

SB1 をストラップに取り付けると、取り外しや交換が簡単になります。加速度計によりデバイスの向きに応じてスクリーンがすぐに 180 度回転するため、お客様やユーザーはスクリーンを見やすくなります。

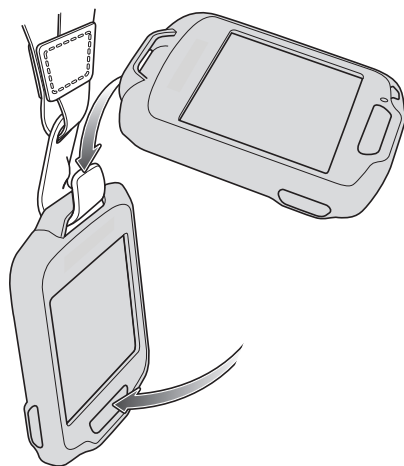


図 4-20 ストラップへの SB1 の取り付け

第 5 章 メンテナンスとトラブル シューティング

はじめに

この章では、SB1 のクリーニングと保管方法、および SB1 の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

SB1 のメンテナンス

トラブルを避けるため、SB1 の使用中は次の注意事項を守ってください。

- SB1 の画面を引っかかないでください。SB1 は必ず指で操作してください。SB1 の画面の表面で、筆記用のペン、鉛筆、スタイラス、その他の鋭いものを使用しないでください。
- SB1 には防滴および防塵シーリングがありますが、雨や湿気に長時間さらさないでください。一般的に、SB1 は電卓などの小型電子装置と同様に扱ってください。
- SB1 のスクリーンはガラス製です。SB1 を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- SB1 は極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所では、SB1 の保管や利用を避けてください。
- SB1 をクリーニングする場合は、レンズ用の柔らかい布を使用してください。SB1 のディスプレイが汚れた場合は、柔らかい布に薄めた窓ガラス洗剤を湿らせてクリーニングします。[5-2 ページの「クリーニング」](#)を参照してください。
- ポケットに入れないでください。ホルスタまたはアームバンドを使用してください。

バッテリーの安全に関するガイドライン



警告 このガイドラインに従わないと、火災、爆発、その他の危険が生じるおそれがあります。

- 機器を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で機器を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、このユーザー ガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイル デバイスのバッテリーを充電する場合、バッテリーと充電器の温度を 0°C ~ +35°C (32°F ~ 95°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてのご質問は、Zebra Global Customer Support (Zebra グローバル カスタマ サポート) にお問い合わせください。
- 分解または外殻を開くこと、粉碎、屈曲または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリー駆動式の機器を硬い地面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に適切に従って廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーが破損した恐れがある場合は、Zebra Global Customer Support (Zebra グローバル カスタマ サポート) に検査を依頼してください。

クリーニング



注意 必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、Zebra に詳細をお問い合わせください。



警告 高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って直ちに製品をクリーニングしてください。

使用可能な洗剤の活性成分

どのような洗剤であってもその活性成分は、イソプロピルアルコール、漂白剤または次亜塩素酸ナトリウム¹(下記の重要な注記を参照)、塩化アンモニウム、中性食器洗剤のいずれか、またはこれらの組み合わせのみで構成されている必要があります。



重要 ウェット ティッシュを使用して、液体が溜まらないようにしてください。

¹次亜塩素酸ナトリウム (漂白剤) ベースの製品を使用するときは、必ず製造業者の推奨手順に従い、使用中は手袋を着用し、使用後はアルコールで湿らせた布または綿棒で残留分を除去して、デバイスを取り扱うときは長時間皮膚と接触しないようにしてください。

液状 (ウェット ティッシュを含む) の次亜塩素酸ナトリウムに暴露されると、この化学物質の強力な酸化性によりデバイスの金属面が酸化 (腐食) しやすくなります。あらゆる漂白剤ベースの製品が、デバイス、バッテリー、クレードルの金属の電気端子に接触しないようにしてください。このような消毒剤がデバイスの金属に触れた場合は、クリーニングの手順の後、アルコールで湿らせた布または綿棒でただちに除去することが重要です。

有害成分

化学薬品の中には、SB1 の樹脂部分を冒すことが判明しているために、デバイスに接触しないような配慮が必要な場合があります。このような化学薬品として、アンモニア溶液、アミンまたはアンモニアの化合物、アセトン、ケトン、エーテル、芳香族炭化水素および塩素化炭化水素、アルカリのアルコール溶液または水溶液、エタノールアミン、トルエン、トリクロロエチレン、ベンゼン、石炭酸、および TB- リゾフォルムがあります。

洗浄方法

SB1 に液体を直接塗布しないでください。柔らかい布にしみ込ませて使用するか、ウェット ティッシュを使用してください。布やウェット ティッシュにデバイスをくるまず、力を入れずにゆっくりと表面を拭きます。ディスプレイの周辺などに液体がたまらないように注意してください。デバイスは、自然乾燥させてから使用してください。

洗浄の際の注意事項

多くのビニール製手袋には、医療用途にはお勧めできないフタレート系の添加剤が含有されており、SB1 の筐体には有害であることがわかっています。フタレートを含有する手袋を着用して SB1 を扱わないようにしてください。また、手袋を外した後は、手を洗って汚染残留物を除去してから SB1 を扱ってください。SB1 を扱う前に、エタノールアミンを含有する除菌ローションなど、上記の有害成分を含有する製品を使用している場合は、樹脂部の損傷を防止するために、手を完全に乾燥させてから SB1 を扱うようにしてください。

必要な材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュ ペーパー
- 綿棒
- イソプロピル アルコール
- 管つき圧縮空気の缶

SB1 のクリーニング

筐体

アルコール脱脂綿で、ボタンを含む筐体を拭きます。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまるように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

リーダー スキャナ ウィンドウ

レンズ用ティッシュ ペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的にスキャナ ウィンドウを拭いてください。

端子

1. 綿棒のコットン部をイソプロピル アルコールに浸します。
2. 綿棒のコットン部で、端子を軽くこすります。端子にコットンの屑が残らないようにしてください。
3. これを 3 回以上繰り返します。
4. アルコールに浸した綿棒で、端子付近の油分や埃を拭き取ります。
5. 乾いた綿棒で、ステップ 2 ～ 4 を繰り返します。



注意 ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

6. 圧縮空気を端子部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
7. 端子部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピル アルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. コネクタのすべての面も、綿棒で拭く必要があります。



注意 ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。

6. 綿棒の屑が残っていないことを確認し、屑が残っていれば取り除きます。
7. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
8. アルコールが蒸発するまで 10 ～ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。

気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーが判断してください。必要に応じた頻度でクリーニングを行うことができます。ただし、埃の多い環境で使用する場合は、スキャンのパフォーマンスを最適に保つため、スキャナ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

トラブルシューティング

SB1

表 5-1 SB1 のトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
SB1 がオンにならない。	バッテリーが充電されていない。	SB1 を充電します。
	SB1 がオフになっていた。	電源が供給されているクレードルに SB1 を装着します。電源が供給されると、SB1 がオンになります。
	システム エラー。	リセットします。それでも SB1 がオンにならない場合は、システム管理者にお問い合わせください。詳細については、 1-5 ページの「SB1 のリセット」 を参照してください。
バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	リセットします。詳細については、 1-5 ページの「SB1 のリセット」 を参照してください。
	バッテリーの充電中に SB1 をクレードルから取り外した。	SB1 をクレードルに装着し、充電を開始します。バッテリーのフル充電には、最大 4 時間かかります。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 35°C を超えると、バッテリーは充電されません。
	SB1 がクレードルに上下逆さまに装着されている。	クレードルから SB1 を取り外して、スキャン ボタンが上を向くように取り付けます。
SB1 から音が出ない。	音量設定が低いかわずになっている。	音量を上げます。詳細については、 2-14 ページの「音量の調節」 を参照してください。
	ヘッドセット アダプタが正しく取り付けられていない。	ヘッドセット アダプタを取り外して、取り付け直します。SB1 が正しく接続されている場合は、ビープ音が 2 回鳴ります。
	ヘッドセットがアダプタに正しく装着されていない。	ヘッドセットのプラグを取り外して、ヘッドセット アダプタのオーディオ ジャックに差し込みます。
	スピーカ アダプタが正しく取り付けられていない。	スピーカ アダプタを取り外して、取り付け直します。SB1 が正しく接続されている場合は、ビープ音が 3 回鳴ります。
スクリーンのボタンやアイコンをタップしても、対応する機能が動作しない。	タッチ スクリーンが正しく調整されていない。	スクリーンを再調整します。 2-14 ページの「スクリーン調整」 を参照してください。
	バッテリーが完全に放電している。	バッテリーを充電してください。

表 5-1 SB1 のトラブルシューティング (続き)

問題	原因	対処方法
バーコード データを収集できない。	スキャン アプリケーションが実行されていない。	SB1 スキャン アプリケーションが実行されていることを確認します。システム管理者にお問い合わせください。
	バーコードを読み取れない。	バーコードの品質が適切であることを確認します。
	SB1 とバーコードとの距離が適切ではない。	SB1 が適切なスキャン範囲内にあるかどうかを確認してください。
	SB1 が特定のバーコード タイプを読み取れるようにプログラムされていない。	システム管理者にお問い合わせください。
	バッテリー残量が少なくなっている。	バッテリー レベルを確認してください。バッテリー残量がなくなると、SB1 は自動的にサスペンド モードになります。
	バーコードリーダー ウィンドウが汚れている。	ウィンドウをクリーニングします。5-2 ページの「クリーニング」を参照してください。

シングル スロット 充電 クレードル

表 5-2 シングル スロット 充電 クレードルのトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
SB1 バッテリーが充電されない。	クレードルに電力が供給されていない。	電源ケーブルが、クレードルと AC 電源の両方にしっかり接続されていることを確認します。
	SB1 がクレードルに完全にセットされていない。	SB1 をクレードルから取り外して、正しくセットされるように差し込み直します。
	SB1 がクレードルに上下逆さまに装着されている。	クレードルから SB1 を取り外して、スキャン ボタンが上を向くように取り付けます。
	バッテリーが故障している。	他の SB1 デバイスが正しく充電されるか確認します。他の SB1 デバイスが正しく充電される場合は、システム管理者にお問い合わせください。

10 スロット充電専用クレードル

表 5-3 10 スロット充電専用クレードルのトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
SB1 バッテリーが充電されない。	クレードルに電力が供給されていない。	電源ケーブルが、クレードルと AC 電源の両方にしっかり接続されていることを確認します。
	SB1 がクレードルに完全にセットされていない。	SB1 をクレードルから取り外して、正しくセットされるように差し込み直します。
	SB1 がクレードルに上下逆さまに装着されている。	クレードルから SB1 を取り外して、スキャンボタンが上を向くように取り付けます。
	バッテリーが故障している。	他の SB1 デバイスが正しく充電されるか確認します。他の SB1 デバイスが正しく充電される場合は、システム管理者にお問い合わせください。

ヘッドセット アダプタ

表 5-4 ヘッドセット アダプタのトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
ヘッドセットを通してオーディオが聞こえない。	ヘッドセット アダプタが正しく接続されていない。	ヘッドセット アダプタを取り外して、取り付け直します。
	ヘッドセットが正しく接続されていない。	ヘッドセット アダプタからヘッドセットを取り外して、取り付け直します。
	音量が小さすぎる。	オーディオの音量を上げます。

スピーカ アダプタ

表 5-5 スピーカ アダプタのトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
スピーカ アダプタを通してオーディオが聞こえない。	スピーカ アダプタが正しく接続されていない。	スピーカ アダプタを取り外して、取り付け直します。
	音量が小さすぎる。	オーディオの音量を上げます。



付録 A サンプル アプリケーション

この付録では、SB1 にロードされているサンプル アプリケーションの情報を示します。

- Demo-MVM
- Demo-Scan
- FTP

Demo-MVM

Demo-MVM アプリケーションは、SB1 を使用法のデモを行う人員管理アプリケーションです。

1.  >  をタッチします。
2. 起動画面のあとに、[パスワードの入力] 画面が表示されます。

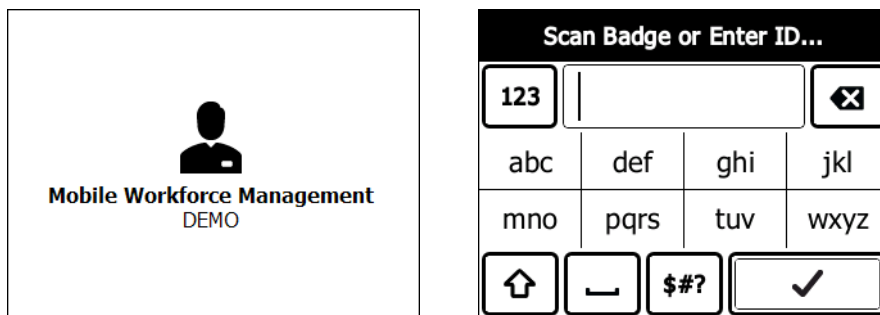



図 A-1 起動画面/[パスワードの入力] 画面

3. 「123456」を入力して、 をタッチします。[受信箱] が表示されます。

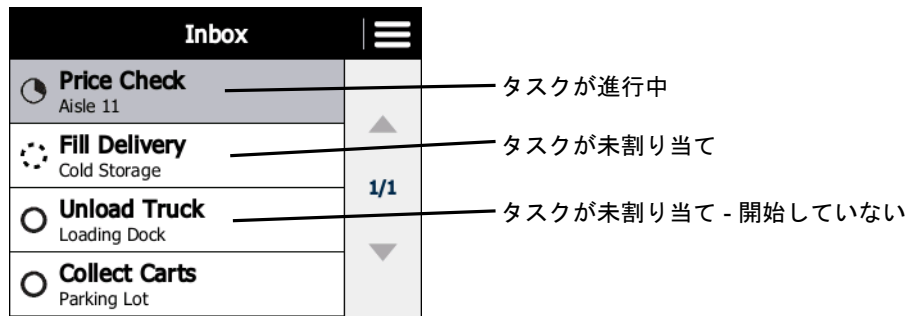


図 A-2 【受信箱】画面

価格チェック シナリオ

価格チェック シナリオでは、ユーザーがすでに許可したタスクが表示されます。ユーザーはこのタスクをすでに開始していて、これから完了します。

1. 【価格チェック】をタッチします。【価格チェック】画面が表示されます。







図 A-3 価格チェック タスク画面

2. 製品のバーコードの方向に SB1 を向けます。
3. スキャン ボタンを押します。SB1 によってバーコードが読み取られ、製品情報が表示されます。



図 A-4 製品データ画面

タスクが完了したら、 をタッチします。【受信箱】に戻るには  を、タスクを一時停止してあとで完了するには  をタッチします。

4.  をタッチして、タスクが完了したことを示します。
5. [OK] をタッチして、タスクが完了したことを確認します。
6. [OK] をタッチします。

7. [受信箱] が再表示されます。

積載シナリオ

積載シナリオでは、ユーザーが許可していないタスクが示されます。ユーザーはこのタスクを許可して、完了します。

1. [積載] をタッチします。[積載] 画面が表示されます。



図 A-5 [積載] 画面

2. [許可] をタッチして、タスクを許可します。

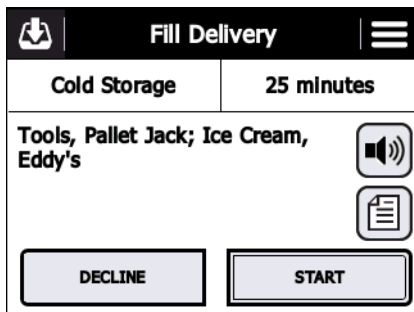


図 A-6 タスク許可画面

3.  をタッチして、タスクを開始します。

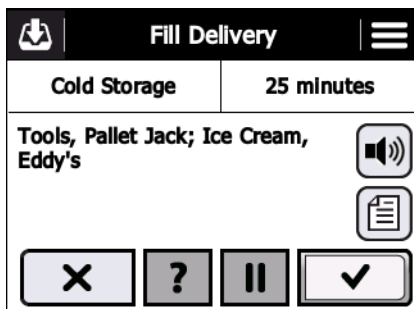






図 A-7 タスク開始

タスクが完了したら、 をタッチします。[受信箱] に戻るには  を、タスクを一時停止してあとで完了するには  をタッチします。

4.  をタッチして、タスクが完了したことを示します。
5. [OK] をタッチして、タスクが完了したことを確認します。

6. [受信箱] が再表示されます。タスクは [受信箱] から削除されています。

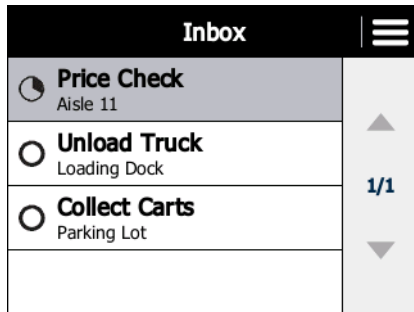


図 A-8 [受信箱] から削除された積載タスク

トラックからの荷下ろしシナリオ

トラックからの荷下ろしシナリオでは、ユーザーが許可したタスクが表示されます。ユーザーはこのタスクを完了します。

1. [受信箱] で、[トラックからの荷下ろし] をタッチします。[トラックからの荷下ろし] 画面が表示されます。

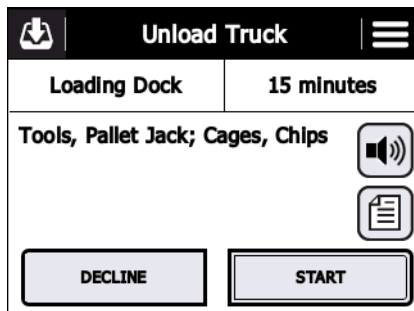


図 A-9 タスク許可画面

2. **START** をタッチして、タスクを開始します。

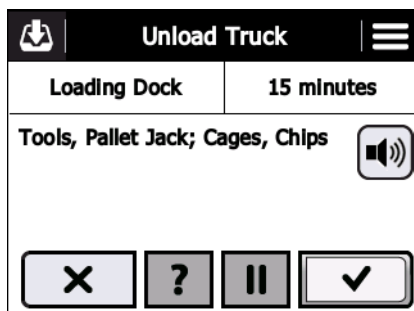


図 A-10 タスク開始開画面

タスクが完了したら、**✓** をタッチします。[受信箱] に戻るには **×** を、タスクを一時停止してあとで完了するには **||** をタッチします。

- ✓** をタッチして、タスクが完了したことを示します。
- [OK]** をタッチして、タスクが完了したことを確認します。
- [受信箱] が再表示されます。トラックからの荷下ろしタスクは [受信箱] から削除されています。

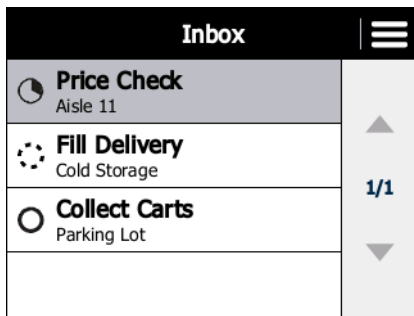


図 A-11 【受信箱】から削除された【トラックからの荷下ろし】

カートの収集シナリオ

カートの収集シナリオでは、ユーザーに割り当てられているタスクが示されます。ユーザーはこのタスクを一時停止したあとに再開して、完了します。

1. 【受信箱】で【カートの収集】をタッチします。【カートの収集】画面が表示されます。

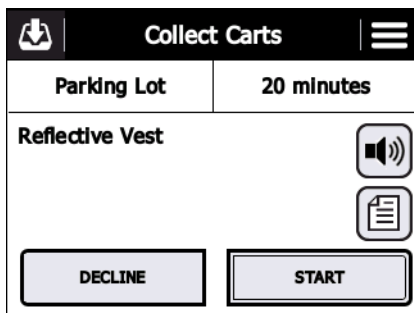


図 A-12 タスク許可画面

2. **START** をタッチして、タスクを開始します。



図 A-13 カートの収集タスクの開始

タスクが完了したら、**✓** をタッチします。タスクをキャンセルするには **X** を、タスクを一時停止したあとで完了するには **||** をタッチします。

3. **||** をタッチします。

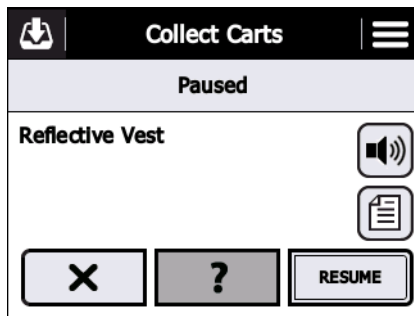



図 A-14 カートの収集タスクの一時停止

4.  をタッチします。

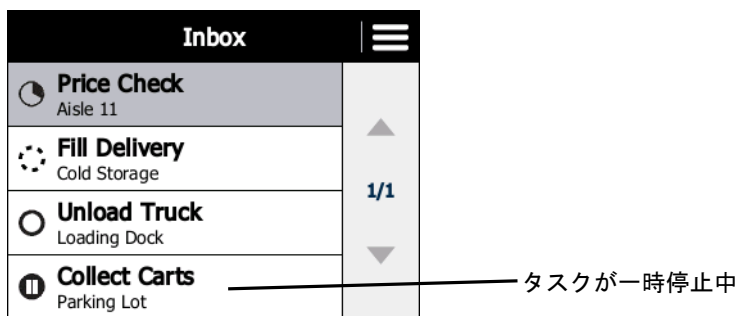




図 A-15 カートの収集タスクが一時停止されている受信箱

5. [カートの収集] をタッチします。
6. [再開] をタッチします。
7.  をタッチして、タスクが完了したことを示します。
8. [OK] をタッチして、タスクが完了したことを確認します。
9. [OK] をタッチします。
10. [受信箱] が再表示されます。タスクは [受信箱] から削除されています。


販売デモのリセット

販売デモ アプリケーションの使用中に、データを初期状態にリセットできます。

1. [受信箱] で  をタッチします。
2. [デモのリセット] をタッチします。
3. データが初期状態にリセットされた受信箱が表示されます。

販売デモの終了

販売デモを終了するには、次の手順に従います。

1. [受信箱] で  をタッチします。
2. [デモの終了] をタッチします。

Demo-Scan

価格検索アプリケーションの機能のデモを行うには、**Demo-Scan** アプリケーションを使用します。



1.  >  をタッチします。【価格チェック】画面が表示されます。
2. スキャン ボタンを押して、以下に示すバーコードの 1 つをスキャンします。読み取りに成功すると、対応する製品情報の画面が表示されます。
3. [戻る] ボタンを押して、メインの【価格チェック】画面に戻ります。



図 A-16 クラッカー



図 A-17 チーズ



図 A-18 ワイン



図 A-19 ジーンズ - サイズ 14R

Price Check	
\$32.99	Size 14R
	
490140922100	
Item: Jeans	
Description: Mid Waist & Straight Hip SKINNY	



図 A-20 ジーンズ - サイズ 3

Price Check	
\$32.99	Size 3
	
490140922087	
Item: Jeans	
Description: Mid Waist & Straight Hip SKINNY	



図 A-21 カメラ

Price Check	
\$106.00	Silver
	
018208263097	
Item: Nikon Camera	
Description: Nikon Coolpix s3300	



図 A-22 カメラ ケース

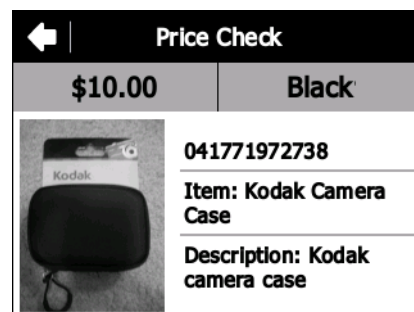
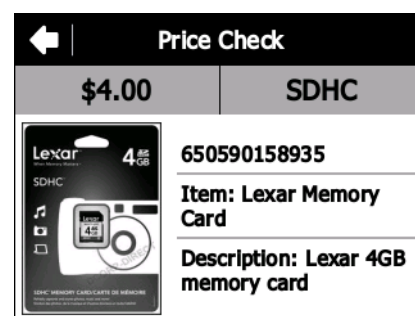



図 A-23 メモリ カード



FTP クライアント

FTP サーバーと SB1 の間でファイルを転送するには、FTP アプリケーションを使用します。

■ ■ ■ >  をタッチします。[FTP] 画面が表示されます。

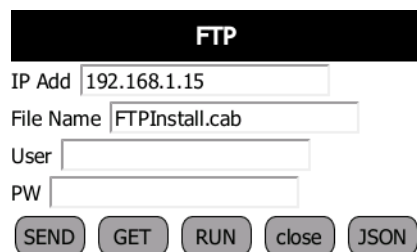


図 A-24 FTP アプリケーション画面

必須

- FTP サーバー ソフトウェア
- SB1

設定

SB1 がネットワークに接続されていて、FTP サーバーと同じネットワーク上の有効な IP アドレスを保持していることを確認します。

✓ 注 【実行】ボタンは使用しないでください。

アプリケーションには次の 4 つのフィールドがあります。

- FTP サーバーの IP アドレス
- 転送するファイル
- ユーザー名 (認証情報が不要な場合は、空白のまま残す)
- パスワード (認証情報が不要な場合は、空白のまま残す)

SB1 にファイルを転送するには、次の手順に従います。

1. 該当フィールドに入力します (転送するファイルなど)。
2. 【取得】を押します。
3. SB1 のルートである **UserDrive** にファイルが転送されます。

SB1 からファイルを転送するには、次の手順に従います。

- 1) 該当フィールドに入力します (転送するファイルなど)。
- 2) 【送信】を押します。
- 3) SB1 のルートである **UserDrive** から FTP サーバーにファイルが転送されます。

アプリケーションの終了

FTP アプリケーションを終了するには、【閉じる】をタッチします。【アプリケーション起動プログラム】画面が表示されます。

付録 B 仕様

この付録では、SB1 およびアクセサリの仕様を示します。

SB1 の技術仕様

表 B-1 は、SB1 の技術仕様と動作環境についてまとめたものです。

表 B-1 SB1 の技術仕様

各部の名称	説明
物理的特性	
寸法	92mm (高さ) x 81mm (幅) x 14mm (奥行き) (3.62 インチ (高さ) x 3.19 インチ (幅) x 0.55 インチ (奥行き))
重量	110g (3.9 オンス)
ディスプレイ	3.0 インチ E Ink Pearl、4 ビット グレースケール (16 階調) QVGA 320 x 240 解像度
タッチ パネル	指で操作する全画面抵抗膜式タッチ パネル (スタイラスは使用しない)
バッテリー	充電式リチウムイオン 910mAh
ネットワーク接続	ワイヤレス ローカル エリア ネットワーク (WLAN)
通知	オーディオ: ビープ音、表示: 多色 LED
オーディオ	内蔵マイク。アクセサリにはプッシュトゥーク機能の付いたオプションのスピーカ アダプタと、ヘッドセット アダプタが含まれます。
性能特性	
CPU	IMX35 (532MHz)
アプリケーション	RhoElements 拡張機能により、シン クライアント アプリケーション および HTML 5 をサポート

表 B-1 SB1 の技術仕様 (続き)

各部の名称	説明
メモリ	128MB RAM/128MB フラッシュ
ユーザー環境	
動作温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 35°C (32°F ~ 95°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃性能:	MIL STD 810G 仕様に従い、コンクリートを覆うタイルに 1.22 m (4 フィート) の高さから複数回落下しても動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 直接放電
シーリング	IP54
ワイヤレス LAN データおよび音声通信	
WLAN 無線通信	Wi-Fi IEEE® 802.11b/g/n (2.4GHz のみ)
サポートされるデータ速度	1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、54Mbps、MCS0-7
動作チャンネル	チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472MHz)、チャンネル 14 (2484MHz) 日本のみ。実際のチャンネル/動作周波数は、各地域の規制および承認機関により異なります。
セキュリティ	セキュリティ モード: 従来式、WPA、および WPA2 暗号化: WEP (40 または 128 ビット)、TKIP、および AES 認証: TLS、TTLS (MS-CHAP)、TTLS (MS-CHAP v2)、TTLS (CHAP)、TTLS (MD5)、TTLS (PAP)、PEAP-TLS、PEAP (MS-CHAP v2)、PEAP (EAP-GTC)、EAP-FAST-TLS、EAP-FAST (MS-CHAP v2)、EAP-FAST (EAP-GTC)、LEAP
通信方式	直接スペクトラム拡散方式 (DSSS) および直交周波数分割多重方式 (OFDM)
データ収集	
バーコード リーダー	照準と照明が内蔵されたオムニ バーコード リーダー

用語集

数字

802.11bgn. SB1 無線機で使用できる無線プロトコル。

E

ESD. Electro-Static Discharge (静電気放電) の略。

H

Hz. ヘルツ。1 秒あたり 1 サイクルと同等の周波数の単位です。

I

IP. インターネット プロトコル (Internet Protocol) の略。TCP/IP 通信プロトコルの IP 部分。IP はプロトコルのネットワーク層 (第 3 層) を実装しています。ネットワーク層にはネットワーク アドレスが含まれており、ネットワーク層を使用して別のネットワークやサブネットワークにメッセージをルーティングします。IP では、第 4 層の転送プロトコル (TCP または UDP) からの「パケット」を受け取り、独自のヘッダを追加して、第 2 層のデータ リンクプロトコルに「データグラム」を渡します。また、ネットワークの最大転送単位 (MTU) をサポートするため、パケットをいくつかの断片に分解する場合があります。

IP アドレス. (インターネット プロトコル アドレスの略)。IP ネットワークに接続されたコンピュータのアドレス。すべてのクライアントおよびサーバー ステーションは、固有の IP アドレスを持っている必要があります。IPv4 ネットワーク上のコンピュータでは、32 ビット アドレスが使用されます。クライアント ワークステーションには、固定アドレスか、セッションごとに動的にワークステーションに割り当てられるアドレスを設定します。IPv4 アドレスは、ピリオドで分割された 4 セットの数字で記述されます。たとえば、204.171.64.2 などとなります。

L

LAN. Local Area Network (ローカル エリア ネットワーク) の略。建物の倉庫の中など、ローカル エリア内のデータ通信をサポートする無線ネットワーク。

LED インジケータ . インジケータとして使用される半導体ダイオード (LED は発光ダイオード)。多くはデジタル ディスプレイに使用されます。この半導体は、印加電圧を使用して、ある特定の周波数 (波長の逆数) の光を発生します。周波数は半導体の化学組成によって決定されます。

R

RAM. Random Access Memory (ランダム アクセス メモリ) の略。RAM 内のデータにはランダムな順序でアクセスでき、すばやい読み書きが可能です。

RF. Radio Frequency (無線周波数) の略。

S

SB1. 本書では、SB1 とは Zebra スマート バッジを指します。スタンドアロン型のデバイスとして使用するようにセットアップすることも、無線テクノロジーを使用してネットワーク通信するようにセットアップすることも可能です。

あ

アクセス ポイント. 本書では、アクセス ポイント (AP) とは Zebra のイーサネット アクセス ポイントを指します。ホスト コンピュータ システムと 1 つまたは複数の無線ターミナルとの通信を管理する通信機器です。AP は有線のイーサネット LAN に接続しており、IEEE 802.11 の相互運用性を持つ無線を搭載したモバイル装置 (SB1 など) とイーサネット有線ネットワークとのブリッジの役割を果たします。モバイル ユーザーが施設内のどこに移動しても、AP によって有線ネットワークへのシームレスな接続が確保されます。

か

解像度 特定の読み取りデバイスによって識別される、または特定のデバイスや方法で印刷される、最も幅の狭いエレメントの寸法。

く

クレードル. ターミナルのバッテリーの充電やホスト コンピュータとの通信に使用します。使用していないときは、ターミナルの保管場所となります。

さ

サブネット. 1 つのネットワーク上で、同じルーターのサービスを受ける複数のノードのサブセット。「ルーター」を参照してください。

サブネット マスク. IP アドレスのネットワーク部分とホスト部分を分離するために使用される 32 ビットの数字。カスタム サブネット マスクは、IP ネットワークをさらに小さなサブセクションに分割します。マスクはバイナリパターンであり、IP アドレスと組み合わせることで、ホスト ID アドレス フィールドの一部をサブネットのフィールドに置き換えます。多くの場合、デフォルトは 255.255.255.0 です。

し

シンボル. 特定の記号体系の規則に従ってデータをエンコードする、スキャン可能な単位。通常はスタート/ストップ キャラクタ、クワイエット ゾーン、データ キャラクタおよびチェック キャラクタを含みます。

す

スキャナ. バーコードをスキャンし、シンボルのバーとスペースに対応するデジタル化されたパターンを作成するための電子デバイス。

スキャン エリア. シンボルを収めるための領域。

スキャン モード. バーコード リーダーが通電され、プログラミングされてバーコードを読み取れる状態になっていること。

て

デコード. バーコードの記号体系 (UPC/EAN など) を識別し、スキャンしたバーコードの内容を分析すること。

は

バーコード. さまざまな幅のバーとスペースのパターン。数字や英数字のデータを機械が読み取れる形式で表します。一般的なバーコードの形式は、先頭マージン、スタート キャラクタ、データ キャラクタ (またはメッセージ キャラクタ)、チェック キャラクタ (存在する場合)、ストップ キャラクタ、および末尾マージンで構成されます。この枠組みの中で、認識可能な記号体系それぞれが独自の形式を使用します。

バイト. アドレス指定可能な境界上で、特定の文字や数値を表すパターン内で組み合わせられた、隣接した 8 桁の 2 進数 (0 と 1)。ビットには右から 0 ~ 7 の番号が付いており、ビット 0 が下位のビットです。メモリ内では、1 バイトを使用して 1 つの ASCII 文字を格納します。

ひ

ビット. 1 桁の 2 進数。1 ビットが、バイナリ情報の基本単位です。一般的には、連続した 8 ビットが 1 バイトのデータを構成します。バイト内の 0 と 1 の値のパターンによって、そのバイトの意味が決定されます。

ビット/秒 (bps). 送信または受信されるビット数。

ふ

ブートまたはブートアップ. デバイスが起動時に実行するプロセス。ブートアップ中、デバイスは自己診断テストを実行したり、ハードウェアやソフトウェアを設定したりすることができます。

プッシュアウトーク (PTT). ボタンを瞬間的に押して音声受信モードから送信モードに切り替える、無線ネットワークを介した通信方法。

フラッシュ メモリ. フラッシュメモリは、システム ファームウェアが保存されている不揮発性メモリです。システムの電源が遮断されても、データは失われません。

ほ

ホスト コンピュータ. ネットワーク内の他のターミナルに、演算やデータベース アクセス、監視プログラム、ネットワーク制御などのサービスを提供するコンピュータ。

よ

読み取り可能コード. 特定のバーコード タイプ (UPC/EAN、Code 39、PDF417 など) のデータを表すための構造的なルールと規約。

り

リセット. リセットは、実行中の全プログラムを終了して SB1 を再起動します。フラッシュ メモリに保存されていないデータはすべて失われます。

る

ルーター. ネットワークに接続して、パケットのフィルタリングに必要なプロトコルをサポートするデバイス。一般的には、配線の範囲を広げたり、ネットワークのトポロジをサブネットにまとめたりするために使用されます。「サブネット」を参照してください。

索引

数字

- 10 スロット クレードル
 バッテリーの充電 4-4
- 10 スロット充電専用クレードル 1-3, 4-1, 4-4

あ

- アクセサリ 1-2
 - 10 スロット クレードル
 バッテリーの充電 4-4
 - 10 スロット充電専用クレードル 4-4
 - シングル スロット充電クレードル 4-2
 - バッテリーの充電 4-2
- アプリケーション 2-11
- アームバンド 2-3, 4-1, 4-11

い

- イヤホン ヘッドセット 4-1

お

- オーディオ アダプタ 4-1
- オーディオの音量 2-14
- 温度
 充電 B-2
- 音量
 - オーディオ 2-14
 - ビープ音 2-14
- 音量の調節 2-14

か

- 各部の名称 1-2

き

- 技術仕様 B-1
- 規制ラベル 1-3
- 規則
 表記 x

く

- クリーニング 5-1
- グループ 2-18
- グループ応答 2-19
- グループ ブロードキャスト 2-19
- クレードル
 - 10 スロット クレードル
 バッテリーの充電 4-4
 - 10 スロット充電専用クレードル 4-4
 - シングル スロット充電クレードル
 バッテリーの充電 4-2

こ

- 更新、マニュアル xi
- 構成 ix

し

- 従業員バッジ 2-1
- 充電、気温 1-3
- 情報、サービスに関する xi
- シングル スロット充電クレードル 1-3, 4-1, 4-2
 - バッテリーの充電 4-2

す

- スキャン 3-1
- スキャン操作に関する考慮事項 3-1

スキャン ボタン 1-2
 ストラップ 2-1, 4-1, 4-13
 スピーカ アダプタ 2-6, 4-1, 4-8

せ

設定 2-12

そ

ソフトウェアのバージョン 2-15

ち

調整 2-14
 調整画面 1-4

つ

通知 2-8

て

データ収集 ix
 ディスプレイ ix

と

動作
 環境 B-1
 トラブルシューティング 5-6
 10 スロット充電専用クレードル 5-8
 シングル スロット充電クレードル 5-7
 SB1 5-6

な

中黒 xi

は

バーコード読み取り 3-2
 パッケージの開梱 1-1
 バッテリ充電画面 1-4
 バッテリの充電
 気温 1-3
 バッテリ放電画面 1-4
 販売デモ アプリケーション A-1

ひ

ビープ音の音量 2-14

ふ

プロファイル 2-9

へ

ヘッドセット 2-4
 ヘッドセット アダプタ 4-6

ほ

保存 5-1
 ホーム画面 2-7
 ホルスタ 2-2, 4-1, 4-9

ま

マニュアル更新 xi

む

無線 ix

め

メイン バッテリ 1-3
 メモリ ix
 メンテナンス 5-1

よ

読み取り可能範囲 3-2

P

PTT Express 2-15, 2-16

S

SB1 のリセット 1-5



Zebra Technologies Corporation
Lincolnshire, IL U.S.A.
<http://www.zebra.com>

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2019 Zebra Technologies Corporation および / またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

